

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-143)、
廃棄物管理施設(118)、MOX燃料加工施設(2-97))」
2. 日時：令和6年1月29日(月) 16時00分～18時20分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
古作企画調査官、大岡主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全
審査官、上出安全審査官
日本原燃株式会社
燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長 兼 再処理事業部 副部長
他7名
5. 要旨
 - (1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年1月25
日及び1月26日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。
 - ・重大事故等対処設備及び設計基準対象施設の設計項目の整理
 - ・今後の進め方(耐震設計に係る事項)
 - (2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。
 - ・重大事故等対処設備及び設計基準対象施設の設計項目の整理については、
重大事故等対処設備の設計項目を関連する基本設計方針から網羅的に抽
出した上で、設計基準対象施設の設計項目と紐付ける際の考え方等を明確
にして、具体的な構造設計等へ展開できるように整理する。
 - ・耐震設計に係る事項の今後の進め方については、申請対象設備に係る具体
的な設備等の評価として説明する内容を、補足する資料の構成等を含め、
抜け漏れなく計画的に進められるように整理する。
6. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他
提出資料
なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画

の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和6年1月25日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和6年1月26日
「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁のです。
0:00:03	それでは日本原燃とのヒアリング
0:00:05	をします。本日は、令和4年12月26日付の再処理施設及び、管理施設、また、令和5年2月28日付けのMOX施設の設工認について、
0:00:19	金先週の金曜日ですね、1月26日提出の資料。
0:00:24	スズキ事実確認。
0:00:26	です。
0:00:27	出席者ですけども規制庁側から、コサクカミデフジワラWebからオオオカ、
0:00:35	ます。
0:00:36	それでは原燃の方から、出席者と、資料の紹介をお願いします。
0:00:43	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:00:47	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:50	Steeringチームより、
0:00:53	イシハラインシグロタカヤ。
0:00:56	サポートメンバーといたしまして、
0:00:59	エビナ、
0:01:01	セガワ、
0:01:02	シミズ、
0:01:04	イトウ、
0:01:06	再処理及びMOXの事務局参加させていただいてございます。他に作業メンバー、
0:01:15	参加してございますのでよろしくお願いいたします。
0:01:18	参加者以上となります。
0:01:20	それでは、資料の方でございませけれども、先週金曜日、提出させていただきました、BSへの設計項目の整理方針、8条と36条ですね、こちらの方の
0:01:32	説明を開始させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
0:01:38	はい、日本インシダでございませ。今、説明グループ1の範囲ですが、説明グループ今後の共通的な考え方を整理していくという観点で、イシハラの方からご説明をさせていただこうと思います。
0:01:53	26日に25日からの変更点を示した上で、資料を提出させていただいております。
0:02:03	実際中身としては、8条の竜巻関係の基本設計方針、資料2をイメージして、設計項目であったり、

0:02:14	設計説明分類設計項目当たり設計項目の考え方、説明グループの考え方であったり、一番右側に代表設備を、資料3に持っていった時に代表設備をどう整理するかと。
0:02:25	いうことの考え方だったりその代表を、の具体の対象物ですね、を整理させていただきました。それとあと16ページ以降に36条、これのも、キック呉をするための36条側の、
0:02:40	整理ということで36条の業績を市と
0:02:44	関連する、設計説明分類設計項目、呉であったり設計の考え方、
0:02:50	を整理したものであるということで資料を提示させていただきました。
0:02:54	金曜日の進め方でもお話をさせていただいた通りまだ、一つはDBの時にやったルールがですね、SAを出した時に同じようにできてないところ、
0:03:07	であったり、
0:03:09	精を出して結果、どこでどういう設計を説明するのかと、ということが非常に切り貼りをした結果非常にわかりづらい。
0:03:20	状態になってます。そこを明確にしていかないと、資料3に行った時にですね本当にこれで全部大丈夫なんですねっていうことの確認もできないので、そういう整理を進めていかないといけません。
0:03:33	思ってます。
0:03:35	例えばですが、
0:03:38	資料でいきますと、
0:03:40	Bセキの整理、と同じようにできてない例として、右下5ページで、
0:03:46	ナンバー14の会社の竜巻の設計方針が、基本設計方針がありまして、これ
0:03:52	屋外の機器配管と屋内の機器配管、それぞれパーツが並んでます。
0:03:58	屋外機器配管の八条を括弧竜巻-14と、一番上に書いてある1、
0:04:04	ここでは、設計方針が、建屋内の防護対象施設が建屋外部衝撃から竜巻から守れる、建屋に収納することによって機能を損なわない設計とすると。
0:04:18	ということで、対象としては屋外、屋内とありますが結局は、屋外に入っているものでも屋外屋内を連結してついているような設備の屋内側を対象にして説明していると。
0:04:31	ということです。ここで、
0:04:33	Dの整理をし、昔したときにですね、屋内の配置についてはここに書いてある通りこのナンバー14側で整理をしていくんですが、守られる建屋と言っている建屋の設計は、

0:04:45	No.1056 に打って建屋の設計をちゃんと示しますよというリンクを貼っているんですけど、
0:04:50	青の枠でいろいろ利用している季SE側、同じようなことをやらなきゃいけないのに同じような展開ができてないということ、こういうのをちゃんと整理をして結果、どこに設計を預けているのかと。
0:05:02	いうのがわかるようにしないといけないところがまだ全体通してできてない。
0:05:07	思ってます。
0:05:10	またSAを今回出した時にですね、同じようなことを書いてるようで若干書き方が違って、何を結局対象として預けられて、
0:05:22	何が一緒に何が違うのかというのが、
0:05:25	文章を見てもわかりづらかったりというところがありますんでそういったところをケアをして、設計として何を説明しないといけないのかよりわかりやすく、
0:05:34	迷わないようにしないといけないと思ってます。
0:05:38	というところを全般的にできてないところをケアをしていかないと、一番右の代表の選び方が本当にこれでいいのかという、いうところも明確にならないと。
0:05:50	いうところもありますんでそういったところの整理を進めていかないと、まだ、本当にこれでいいのかっていうことにはならないのかな。
0:05:58	いうことで思っていますアノ、そういう状態で資料を出した時点で、駄目では駄目なんですけどこういう作業を並行して進めているところでございます。はい。
0:06:09	あと
0:06:12	例えば 6 ページの
0:06:15	No.27。
0:06:17	Dのときからこう書いてたは書いてたんですけどよく、より並べてみるとわかりづらいのは、
0:06:25	システム設計構造設計、特にシステム設計で基本設計方針の内容を見ると、
0:06:30	塔槽類廃ガス処理設備等の
0:06:33	外気と繋がっている設備に対して防護対象施設に対して、気圧差荷重を考えて、機能を損なわないと、ということ、そこが設計項目で、
0:06:45	システム設計構造設計評価と並んでシステム設計を見ると、
0:06:50	いわゆる業績用地と同じ、それは伊賀処理設備等のうちと出てきて、
0:06:56	配管楽とで外気と繋がっているもの。

0:07:01	その二つ下に、いきなりガラス固化体貯蔵設備の収納管はと出てきて、このガラス固化体貯蔵設備の収納管がこの等々で排ガス処理設備等と言っている基本設計方針の対象物の内数かどうか、
0:07:15	これよりもパツとわからないと、いうところこの辺の基本設計方針の要求事項を確かに全体的に網羅して達成できてるかっていうところが、この項目を見てちゃんとわかるようにしないとイケない。
0:07:26	いうところのケアもしないといけないと思ってます。ここは当然貼り付けてるSAも同じだと思ってます。
0:07:33	そういったところを全般的に見ていかないといけないということですかね。はい。
0:07:42	実際お出ししてるもので一応悩みながら、
0:07:49	工夫をしてもらってるのは、
0:07:52	36 条側でやはり
0:07:55	幾つかの要求事項で結果同じ設計を期待しているところを、
0:08:02	全部一気にDB側に振ってしまうと、項目だけが羅列されて結局何が言いたいんだかよくわからんという、いうことにならないかということの心配をしていたところがあって、
0:08:14	それを、
0:08:16	例えばですけど、
0:08:25	最終的には、26 ページの例えば、
0:08:30	23 番の可搬型のリード文みたいなものが頭にあってこれの屋外機器配管。
0:08:39	これもちゃんと何を言いたいかを取り設計項目のところにですねちゃんと書かないといけないと思いつつも対象物が、
0:08:48	これは屋外機器配管と言いつつも、
0:08:52	ぴあ内とかに保管する屋内設置後の
0:08:56	言っているんだよね。
0:08:58	はい。これを、36 条の 23 の屋内機器配管これあの井関分散の話を、結局、屋内に置くことと、外にいることをさらにそれが設計基準って対処する設備と常設SA、
0:09:16	あとは立ち退きに対して保管場所やネットビジョン離すといったような要求を、どこでまとめて説明するかと、要求としてはこの屋外の機器配管その下の屋内の機器配管の配置設計、
0:09:28	に絡むのと、
0:09:30	あとは次のページの、
0:09:33	そうだな、説明しないといけないのだ。
0:09:37	失礼しました 16 ページの

0:09:43	一番下を見ていただくと、20、基本設計方針ナンバー232430の要求を踏まえと書いてあるので23の話。
0:09:52	24の話。
0:09:55	あと30の話っていうのが全部、言ってることは結局この設計基準とS、SA設備と可搬設備を位置的分散を図れ竜巻に対して100メートル以上離すという要求がかぶっているの、
0:10:08	ここのところに全部集めて、DBに振りますよということがわかるように、連携を図って集約して、整理団こういう集約をした上で、
0:10:18	ADD側が例えば18番に降りますというような整理をしてもらってます。
0:10:23	こういうことで一応何を要求するか、それが複数かぶるものは、どこかに集めて、ベースA側で整理をして、B側に振る。
0:10:33	Dに振ったときには、まだできてませんが、DBで要求してるものと何と一緒になのか、何が違うのか、対象物が何なのかということを知りやすく整理をして、見せていかなきゃいけない。
0:10:45	いうことを、していこうというのがもともとの認識でございました。はい。
0:10:51	代表については、この設計項目は地上に行ったところで、DDS合わせて、設計項目であったり設計項目の考え方であったりと、
0:11:02	いっしょを見ながら説明しないといけない項目を網羅的にはしけるものが一体誰なのかと。
0:11:09	例えば屋内設備の配置であれば、
0:11:12	DBもSAも同じように建屋内に収納して守ると言ってるような配置が、
0:11:17	DBとSA両方かぶってる建屋を示せば、全体的にカバーして説明できるだろうというような考え方で、代表を挙げている。
0:11:32	例えばですけど7ページに行くと、
0:11:36	外構の話がもともとDBの要求ですけども、
0:11:41	これは、
0:11:43	屋内の機器側に、
0:11:47	この屋外機器配管の情報を預けて説明しますよと一旦言った上で、代表代理するかは、DBSA共通事項は、上側の配置設計の中で、DBSA共通で多分代表立てて説明する。
0:12:02	SA特有なものはそのさらに下側に、生得で説明しなきゃいけないものはSA側で代表ダテで説明しますと。
0:12:10	いうこと、可搬と常設の位置関係であったり、接続コウの話であったりというようなことは、SAで代表を決めて説明しますというようなことを挙げて、説明すべき項目と、
0:12:23	その代表との関係が、

0:12:25	網羅的になるようにということで整理をしたつもりでございますまだこも、説明の仕方が足りなかったり本当にこれで網羅できてるのかと、いうことの整理もできてないところ途中のところもありますんで、さらに整理を進めたいというのが現状の状態でございます。
0:12:43	はい。説明は以上です。
0:12:49	規制庁の藤原です。まず、
0:12:53	ご認識の通り、書き足りてない部分とか、使い切れてない部分が多い資料かなあと印象はこちらでも持っています。
0:13:01	今は何ていうかな、説明がありましたけれども、それ以外にこちらで確認をされていて気になった部分、整理ができていないんじゃないかなと思って気になった部分等ですね。
0:13:14	これから確認していきたいと思いますが、
0:13:17	まず、
0:13:18	メインはその八条の方で、
0:13:21	どう整理したか、それが最終形なのでそちらの方で整理があったものの、
0:13:27	一番気になっているのは 10、36 条の方の 16 ページから、まずこちらが整理されていないとの最終形。
0:13:37	に持っていた時にちゃんと網羅性があるのかとか、そういったところが歯抜けになる可能性があるところだと思いますので、そちらの点を点お伝えしたいんですけども。
0:13:49	16 ページがまず 14 番から始まっているということで、
0:13:54	おそらく、今回は竜巻の部分だということで、竜巻に関するところをピックアップしましたという整理なのかなと思っていないんですが、それ以外に本当に
0:14:05	竜巻に関係するところはなかったでしたかっていったところ等、抜け漏れがないかが気になるんですけども、今回 14 番から出してきたとか、花木で出してきた理由って、
0:14:17	鍛冶の補助は、基本設計方針、ナンバー200 何十万床までであるところなので、全部が全部っていうのは、
0:14:25	何か、
0:14:26	量も多くなるしみたいなどころでいろいろと考えられたかもしれませんがその網羅性の観点で、どうお考えなのか。
0:14:32	聞かせていただけますか。
0:14:41	はい。弓削ニシダでございます。まずはおっしゃっていただいたように、歯抜けになっていると、まず全体的にメインどころといったんですけどどう整理していくかと。

0:14:52	いうことを、我々が整理している様を見せするのに、対象。
0:14:57	そのメインの方に絞っているというのが現状でございます。ただおっしゃっていただいているように、
0:15:07	でも有川は言ってるのか。
0:15:10	一応、
0:15:12	でも、
0:15:13	頭の方に出てくる人もいないのかな。
0:15:17	本当に振ってるやつだけだったんですよ。うん。内堀。うん。
0:15:22	つまり、
0:15:24	その辺はちゃんと整理して抜け漏れがないことを立証しないとイケないという立場であることは認識をしますね。はい。
0:15:32	はいちょっと引き続き整理を進めていきますはい。
0:15:37	はい、規制庁も自腹で設置をお話ニワメインところという話があって、竜巻に入ってる八条の部分っていう、網羅的だったのかっていうともうすでに、
0:15:47	タテウチ書きをしてるんですけど、
0:15:49	例えば
0:15:51	12月なんかでは、
0:15:54	SAの整理って言って、おっきなマトリックスで丸付けなんかをしていただいたりとかしたときのものが全部本当にこっちに入ってるのかなあと いうとやっぱりこちらで確認していても、
0:16:06	ないのかなと思うところもあり、それが今回ピックアップされなかった理由もちょっとよくわからない。
0:16:12	なので、実際は全部を
0:16:15	全部、過去には、
0:16:18	かなり量が多くなれましてっていうところがあるのかもしれないですけど、であればピックアップしなかった理由なりを、ざっくりと書かれるなど、そういうところを、
0:16:27	お聞かせいただいた方がいいのかな、そういうふうなことを記されて、
0:16:31	ていうこちらもセキテの設計番号がこの番号ですね、確認したら、どういった内容かっていうのはこれまでの資料でもよくわかりますしと思うので、何らか工夫をされた方がいいのかなと。
0:16:42	で、
0:16:44	気になったのは、
0:16:46	昔の資料だと、何度アノ141とかっていうところから操作性の話とかがあったんですけど、あれって、結局は16章の方に全部振っちゃって、竜巻の方にも来ないんでしたっけ。

0:17:16	インフレ者でございます。この紐づけ作業する上で、若干維持っていうところがあるので、本来であればそれもセットで、どう考えてそれを修正したのかも含めて、説明ができるように資料をセットすべきだったと思いますので、全体、
0:17:31	年末やったことから、どう考えて、この紐づけ作業も含めて、整理したのかというのがわかるように、お示しをしたいと思いますはい。
0:17:43	規制庁の藤村ですよろしくお願いします。なので今回はこの表に現れて、
0:17:51	今後は、全体的にちゃんと潰し込めるようにということで、
0:17:59	素晴らしい
0:18:04	けど、確かにそれが、
0:18:08	悩まできていないんじゃないかとこちらも
0:18:13	例えば表現ぶりだけかもしれませんが 16 ページ今開いていただいてますが、その 14 番だと。
0:18:21	基本設計方針には多様性、独立性、位置的分散って話があるけれども、説明の説明項目の、
0:18:30	考え方とかのところに出てきている吹き出しなんかを見ると基本 3 に関する設計ということで、1 で木場さんにだけ触れていると。
0:18:37	で、江藤。
0:18:40	前野整理の中では、この基本設計方針から展開するものと、そこでもう話、説明しきれなければいけないものっていうのがあって、そういったところも、
0:18:51	非紐づけなり、展開とかってところの工夫をちゃんとしましょうねっていったところがあったかと思っていて、14 番なんか少し吹き出しなんかで隠れてはいますが、この冒頭宣言にあたる、
0:19:04	36 条基本設計方針のナンバー何番から来てますっていう話があり、また次に飛んでいく先もあったかと思うんですけども、こういったところの潰し込みも、これまでのものを踏まえた、
0:19:16	ことがちゃんとできているのかっていったところに疑問があるんですけども、いかがですか。
0:19:47	日本インダでございますまず、36 条、先ほどあった、抜けてる今回
0:19:55	時間的なものもあって、何で時間がかかるのかって前からお話してるやりとりが、こちらの時間がかかる理由も、パツとしないところなのであれですけど、
0:20:07	竜巻以外も含めて関連する条文振るところをどうひもづけるかということを変えていくとおっしゃっているという意味右左側にいる要求事項が全部網羅されて、

0:20:18	フジサキが展開されるということで認識をしています。
0:20:22	今回竜巻 2 絞って書いた結果、そういう、抜けてるように見えるというか、抜ける抜けさせるつもりはないんですけど抜けてるようには見えてると、ということでございますそこはケアしないといけないという認識がありますので、
0:20:37	まずは 36 抑揚としてみれば、竜巻といえば全体、その年末やった整理で、こういうところにちゃんと振るといふことの整理を全般しないといけないということだと認識をしています。はい。
0:20:50	規制庁の藤原です。
0:20:55	認識はされている。プラス、今回は竜巻の部分をピックアップしたのでそう見えてしまっているんですけどいうふうな説明にも思えたんですけども、
0:21:04	ちょっとページ変わりますが、18 ページなんかでいうと、
0:21:09	今、No.40 コガすごくいっぱい展開されてるんですね。
0:21:15	昔の整理が変わったところで説明し忘れましてことなのかもしれないですけど、昔の
0:21:23	紐づけとかを整理した資料だと、45 番から 46 番にフリーそのあと 4、50 番 2、竜巻なんかは展開があったと思ってるんですけど、その認識はいかがですか。
0:21:56	規制庁の藤村ですが、加えてお伝えすると今 18 ページの一番上を見ていただくと、冒頭宣言によりってということで、46 番に展開すると思って書かれてるんですね。
0:22:06	ただここですごくいっぱい展開されている。
0:22:14	そういったところとあと本、
0:22:16	前までの整理だと、4546 コウ 10 というふうには振っていったところ、46 はいない。
0:22:23	50 番。
0:22:24	またちょっと何か違う整理なんか同じセンナのかよくわからない状況っていう。
0:22:29	ところなんですけどこの車両関係性ってどうなってますか。
0:23:15	規制庁の藤原氏、中上西浦でございます。はい。まず、そうですね。ここもちゃんと整理センターかな。46 番が永松なんでないんだ。
0:23:27	系統的な影響ない。
0:23:29	事故情報に赤松より飛来物にならない、一応いるんです。
0:23:36	今これ 46 番は完全だから、
0:23:38	他の条文に振ってるからここ今回聞いてると。
0:23:42	松丸幹事。

0:23:46	志賀君。
0:23:47	45 万 4、45 はもうちょっとばくつとしていいよ。
0:23:54	冒頭の、
0:23:56	何でも読めるような、
0:23:58	規制庁のフジワラです。45 番は、今瀬川さんから少し声が聞こえてきましたけど、ばくつとした話があって、その次に、どういった影響等があるかっていうのが、46 番にあってそこで竜抜きところがちゃんと出てきます。
0:24:12	その先に、その部隊が展開されてるっていうような、
0:24:17	設計方針だったと思うんですけど。
0:24:19	何でこんな整理になっちゃってるのかっていうのが、
0:24:25	展開先と同じだからってか、冒頭宣言で来るって言ってる以上が 46 番に来なきゃいけないんだけどこれを変えたよ。
0:24:35	今、少しずつから変えてるってのが実態です。うんうん。
0:24:40	もうちゃんと説明しないと駄目だよ。
0:24:43	だけど、いや、そうなった時にもともとフロートを持って預けてるものが消えてると。
0:24:49	預け先なくなってるんじゃないので、
0:24:51	議事誰。
0:24:52	うん。
0:24:57	あそこの中でどう整理したかの考え方を言わない供給種別の展開と、
0:25:04	合理的に資料 2 を八条側で整理するために、情報を集約するっていうのが、何か逆行した作業になっちゃっていて、
0:25:14	そこがちょっとそれだとすると逆行していると、集約するっていう作業が間違っただけの言い方をしてるんじゃないか。そう。そういうことなんですか。あります。そういうことではないんだ。
0:25:30	作業の仕方が悪いとか、
0:25:33	に行きついてしまいますので、
0:25:39	はい、おっしゃって趣旨が理解しました全体含めてもう一度そこも整理をしていきますはい。
0:25:47	と規制庁コサクです。
0:25:50	今、石原さん言われたようにやり方がまずいんです。
0:25:55	今藤原が言ったように、まずですね資料 2 なんですから、資料 2 のとしてのルールをしっかりと守りましょう。
0:26:05	で、守れば、
0:26:07	36 条での整理と、八条での整理は一通り同じような流れになって、
0:26:13	具体っていったところ 2 フェーズが、

0:26:19	お互いあるはずなんですよ。ただ、最初に、
0:26:23	石原さん坂言われたように、ちょっと、
0:26:27	SAとしての固有の考慮事項っていうのがドンピシャではまるものがないところがあるので、それをどこに関連づけるかといったときに、
0:26:40	構成がちょっと違ってくるから、それをどうつなげましょうかっていうところで悩まれて悩んだ結果が、
0:26:48	資料2のルールから逸脱したと。
0:26:52	ということだと思うんですけど。
0:26:55	そういうことをやっちゃうと、入口からわかんなくなって、まずはルールを守ると。
0:27:01	ということでその上でじゃあどう、その困った部分をどうつなげていきましょうかというのは、
0:27:08	結局のところは
0:27:11	振り方を変えるとか云々っていうことじゃなくて、振り方ってのは何だろう。36条の中ですね、縦軸としての関係性っていうところに工夫するのではなくて、
0:27:23	そこはあくまで資料2のルールの中でやっていって、
0:27:27	設計項目の考え方だ。
0:27:32	説明グループの考え方と、というようなところの具体書くところで、
0:27:38	ちゃんと全体を見、その部分の行だけじゃなくて、そこまで振られたことも含めて全体を見渡して、
0:27:45	さらに言えばDの方まで見渡して、
0:27:48	語らなきゃいけないことっていうのをしっかりと書くと。
0:27:53	ということ等でしかないんじゃないかなと思いますけどいかがですか。
0:28:03	はい。二本木西様でございますおっしゃっていただいている通りだと思います。まずはしっかりと要求し基本設計方針の内容を見て、
0:28:14	要求種別を立てている以上は、それに関連する設計内容を、全般、抜け漏れなく、それぞれちゃんと展開をすると。
0:28:23	ということだと思います。あとは預けるときには何を預けているのかを明確にする。当然ながら要求事項が、DB側に占めるいくつかに分散される可能性があるんで、それは分散しても、ちゃんと抜け漏れがないことと、
0:28:37	何を具体的に預けたいのかが明確になるようにして預けに行くということだと思いますんで、もともとのスタートは、そのつもりで話をしていたのが実際作業してみて、

0:28:51	SA側のやりとりが煩雑だと、いうことそれを1回やってみて、全部並べて、その差をちゃんと見た上での話だと思うので、まずは愚直にやると、 いうようにやってみるとということかと思えますんではい、対応します。
0:29:10	規制庁の藤原です。よろしくお願ひします。今やりとりの中で結構内容的には盛り込まれてたんですけども、
0:29:21	何ていうかちょっと具体的にお伝えした方がいいのかもしれないので、 念のためにお伝えすると。
0:29:26	やっぱり、
0:29:27	セルの中の文章を見ても、何でこれで何か、まずセルが二つに分かれてたりとかしても、なぜこのセルが二つに分かれてるのか、同じ。
0:29:37	今、しゃべっていた16ページなんかで言うと、No.14も屋内機器配管で 上と下にセルが置かれてる。
0:29:45	それが結局、上から下に何か同じ屋内機器配管の中でも、下に送って いたりとかするんですけども、こういったところも、何で分けたのか、何で 送っているのかっていったところが、パツと読んでもわからない。
0:29:58	ていうところが結構あります。あと、DBの方に持っていったときに、
0:30:04	DBに預けた方側に、その設計、
0:30:09	説明分類がないときに、急にSAのために分類が増えたりとかするん ですけども、なぜそう、80だけ見てしまうと、それは何で増えてるのかわか らない。
0:30:20	というような状況なので、しっかりとこちらの36条側で整理をして、
0:30:27	分類が増えるっていったところもう手当をしておけば、言って急にあれっ ていうふうにはならないと思うんですね。
0:30:35	なので、
0:30:36	このナカノセルの中で各子供や、やはり一つ一つ理解をした上で、何を ここで説明し、するのか、何を受け渡すのかっていったところは、
0:30:46	ちゃんと潰し込んでいただきたいなと思います。
0:30:49	文書の中も、
0:30:51	分類と合わないような主語、
0:30:55	今まで書き続けていたり、
0:30:57	タダアノ業績方針の方に、これもちょっと具体的な方がいいのかもしれ ません。すいません。コサクです。ちょっといっぱい言いすぎないんで、 一つ一つ噛み砕いて言わないと思うんですけど。
0:31:09	今16ページで話し合ったので、まず何で書き分けているのかというこ とですけど、
0:31:16	16ページの最初のやつは、

0:31:19	分けた上でまとめますと言っているっていう、このちぐはぐさは何なんですか。
0:31:32	思いがあるのはわかってるんですけど。
0:31:36	表現の仕方がそうじゃないんじゃない、じゃあどうすればいいっていう話をしたくて、まずは、
0:31:41	思いを言ってください。
0:31:48	はい。日本原燃の瀬川です。
0:31:50	えーとですね 14 のところの、この蓋項目のまず背景なんですけども、
0:31:58	ちょっと経路が違うものを書いて、上の方、オレンジで塗り潰してる方ですね、これは本当に事故対処をする建屋内に設置するような常設SA設備を、
0:32:11	設計基準設備と違う場所その建屋の中で分散して保管しますと、設置しますと。
0:32:17	いう、配置設計を述べてるのは上のオレンジで下の水色の方ですね、これはここに書いてある通りですね、屋外にいる、屋外機器配管っていう設計説明分類ではあるんですけども、
0:32:29	実際は屋外にいる貯水槽と、あとその代替元である冷却塔みたいなその屋外のSA設備がDB設備と分散されている様というのを、
0:32:41	述べたかったものになります。このふた項目でもって常設SAのですね位置的分散の説明はカバーされるんですけどもそういう
0:32:51	所在が違うということでもって二つに分けていたんですが、これ八条アイパス出しする時にはなんで一つにまとめているのかということですね、結局位置的分散を図るっていうのは、
0:33:03	屋内設置であろうが屋外設置であろうが、ちゃんとデービーと、分かれて設置されていることさえ説明できれば、目的は達成できるだろうということで、屋外の調整槽を代表に預けていきますよという趣旨で、そういう思いで、
0:33:20	こういう整理をしていたのが実態でございます以上です。
0:33:25	古作です。
0:33:27	分けた思いは、まずわかります。
0:33:32	が、
0:33:33	その思いが現れた文章にはなっていないような気がしていて、
0:33:42	元の文章、一般的にそうなんですけど、結論しか書いてないので、何でこういう設計にすんのっていうのはわからないとその趣旨は伝わりようがないということだから、
0:33:53	今言われたようなことをしっかりと書いてください。
0:33:57	いうことがまず一つ。

0:34:02	一番問題なのは、
0:34:04	DBとの関係だと同じだから、まとめます大間違いです。
0:34:09	SAとして特徴があるものは、
0:34:13	まとめた、DBと統合したときにもちゃんと説明しなきゃいけない。
0:34:18	ので、その
0:34:20	ポイントを消しちゃ駄目です。
0:34:23	よって投稿なんてありえない。
0:34:26	SAとしてそれぞれ意味合いが違い、対応策が違いますと言ってるんだ ったら、そのままDB側に持ってかないと。
0:34:34	今回の整理に合わない。
0:34:40	このまま持ってっちゃったら、上の
0:34:46	項目、すみませんちょっと今、パソコン買った数字だってあれなんすけど、
0:34:52	これ、
0:34:54	何とか 5 連中色のオレンジ色、
0:34:58	黄色っぽい色の、
0:35:00	ハッチングかかったものについては説明しませんみたいになっちゃうわけですよ。
0:35:05	実際には 8 条側にも書いてあるのかな。
0:35:09	わかんないんですけど、
0:35:14	こういうものもありますこういうものもありますと、一連のものを説明して もらわないと。
0:35:20	説明、網羅的になってる形にならないですから、そこをちゃんと整理を してください。
0:35:27	いうこと。
0:35:29	です。
0:35:32	ちゃんと 36 条の説明もするっていう意識のもとに統合してください。
0:35:37	統合っていうか、ごめんなさい、八条の方に持って行ってください。
0:35:43	はい。日本原燃の瀬川さんも承知いたしました。
0:35:47	そういう意識が全くなかったわけではなくてですねちょっと資料としての 見やすさとかっていったところを考えたときに、
0:35:58	結構あの情報がすごく量がですね。
0:36:02	上増えてしまってちょっと余計な、余計なことをやってしまったというのが ちょっと今回の実態かなと思ってます。説明をさぼるつもりは全然ない ですので、
0:36:13	しっかり対応いたします。
0:36:16	とコサクです。それで言うとさ、最初の藤原が言った縦軸がちゃんと

0:36:23	関連するもの全部入ってないよと。
0:36:25	ということにも繋がるんですけど、分量が多いのがよくないのではなくて、説明が抜けるのがよくないんですよ。
0:36:34	なので、文章をもっと変えて、業務をもっとふやして、
0:36:38	その代わりちゃんと繋がりが見える。
0:36:41	ということが大事。
0:36:44	それで雄踏、今の 16 ページの黄色の部分で言えばですね、
0:36:52	ちゃんと八条に行ってってくださいという意味で言えば、この記載はその 36 条 14 番っていうのに振るんじゃないかと、同じように 8-19 と、
0:37:02	いうふうに振っていけば、
0:37:05	いいんですけど 19 が正しい場所かどうかちょっと置いといてですよ。
0:37:10	作業の方向性としては
0:37:13	同じところに持って行って、そこで一体として説明しますと。
0:37:17	ということでもいいんですけど。
0:37:20	ええ。
0:37:21	まずは、この対応はそうしてください。その上で持ってた時に、8-19 と 36-14 の一時なりになりと、
0:37:34	いうのはどういう関係にあるのかと。
0:37:37	ということがわからない。どう。
0:37:41	ここで本当に 19 に飛ばしていいんですかっていうことがわからないんですよ。
0:37:47	現状でも 8-19 見て並べて見たら、なるほどねってわかればいいんですけど。
0:37:54	残念ながら今わかんないんですよ。
0:37:59	それは何でかなっていうところ。
0:38:02	にもなるんですけど、まず書きぶりだけで言うと、ここで、
0:38:09	やはり先ほど言ったようにちゃんとわかるように書いてくださいということからすればですよ。
0:38:15	ええ。
0:38:17	単純な作業の仕方だけで言えば、8-19 で書いてる方針とSAのこの方針が同じであると。
0:38:27	同じ書きぶりで並んでいると。
0:38:29	ということであれば確かに 19 と一緒だねと。
0:38:33	ということになるんで、
0:38:35	ここの設計工務の考え方という。
0:38:42	記載。
0:38:43	を考えるにあたり、八条の記載を参考にしていくと。

0:38:47	いう作業はやってますか。
0:38:52	日本原燃の瀬川です。今のご指摘のところはですね、まさに並行して今ずっと作業していたところでした。やはり八条側で合流したときに、
0:39:03	これがおんなじ内容を指しているよねというのは、基本的に低空にしてですね設計基準と同じことやってることに対しては、おんなじ文章展開にしてあげるのが、ぱっと見の見やすさも、
0:39:17	伝わりやすいだろうということで、そういったところのアライ作業ってのは
0:39:22	随時やっていたところでございます。以上です。
0:39:26	はい。補足です。そうだとすると、
0:39:32	わかりやすいところで今のページの青のハッチングの部分なんですけど、まず第1段落のさ、今の三行分ってというのは、そういう形で内容を書いてくださいと。
0:39:44	いうことになります。ここは同じじゃないんですけど記載ルールの話だけでいうとですね、その上d以上の設計はって書いてあるところがもう急に結論にいつちゃっててですね。
0:39:58	なんで、
0:40:00	198-19とあわせて説明するんですかっていう理由がわからないんですけど。
0:40:06	同じ方針であった場合には、以上の設計は、以下の方針と同様の対応であるため、
0:40:16	合わせて説明すると言ってくればいいということなので言葉が足りないっていうだけ。
0:40:22	なんですけど。
0:40:25	一方で、そうじゃないけど、少し違うけど、あわせて説明したいと。
0:40:32	いうものはいっぱいありますよね。この部分も多分そうだと思うんですけど。
0:40:37	そういった場合には、なんでが必要なんです。
0:40:41	ここは何ですか。
0:40:49	はい。日本原燃の瀬川です。貯水槽のところでいけばですね、屋外の分散配置に関する設計になります。屋外の設備の信頼性確保の観点での設計になりますので、
0:41:03	最も近いであろう、八条側でいくと、屋外の防護対象施設の設計を述べているところ、ここに紐づけて説明するのが最も
0:41:13	合理的というコサクん全然説明になってなくてですね。
0:41:19	DD同じ設計をしている。
0:41:24	説明に今なっているように聞こえないんですよ。なぜかっていうと、SAの分散配置の説明を一生懸命しようとするから、

0:41:32	SAの分散配置の設計の説明なんてDBでできるわけじゃないじゃない。
0:41:44	そう思いません。
0:41:50	日本原電野瀬セガワです。
0:41:53	はい。Babyニワない観点であるというのは、認識をしていました。
0:41:59	はい、細井です。だからプラスアルファなんですよ。
0:42:02	そのプラスアルファをどこに置くのっていう、まさにここ1ヶ月ぐらい悩まれたことであって、
0:42:09	それを説明する際に、
0:42:12	何で分散するのというなんでのところで、まずはこの部分は竜巻の関係での分散。
0:42:20	の説明を、
0:42:22	檀分散じゃない竜巻防護という関係の、
0:42:26	部分についての説明をします。
0:42:29	いう入口があって、
0:42:31	それに対しては、
0:42:34	建屋で守りますという設計です。
0:42:37	だから、一緒です。
0:42:40	19番と一緒にという言い方になるんですよ。
0:42:43	なんだけど、その際に、配置という設計だから、分散配置の説明もあわせて、その場所ですたいです。
0:42:54	その時には、同じ建屋の違う場所という観点もあれば、違う建屋という観点もあります。
0:43:03	それらを一式、8-19で説明しますと、
0:43:08	ということですよ。
0:43:13	違います。はい。いや、その通りです。セガワでその通りです。はい。それを、ここの8-19に飛ばすところの以上の設計はっていうところで、
0:43:24	表現をしていてもらいたいですね。
0:43:31	そうすると、
0:43:33	説明の趣旨がまず竜巻防護D配置設計でと。
0:43:38	いうことを言わなきゃいけないくて、
0:43:40	それぞれの主体は、建屋をこの設計説明文についてはタテヤノ。
0:43:46	ての方なんで、以下の
0:43:51	設計方針と一緒にだから合わせて説明しますと。
0:43:55	その中でプラスアルファである広告についても説明します。
0:44:00	というふうにちゃんと書く。
0:44:02	ということじゃないですかね。

0:44:08	はい。日本原燃の瀬川ですコサクさんのおっしゃる趣旨は理解したつもりですので、少し表現、ちょっと工夫して、
0:44:20	いきたいとは思いますがはい。以上です。
0:44:23	一旦藤原さんに戻します。
0:44:25	清町の藤原です。今のやりとりで、の中で、言葉の整理も、があまり、
0:44:33	説明したいことになってませんよねって話があったかと思うんですけどその振ってる先の 10 ページの、
0:44:41	その他ツユキの方の 19 番。
0:44:43	ところに行く、結局、この 14 番って単独で説明するとかって書いてあるんですね。
0:44:51	そういうところもあれですかね、もう少しちゃんと、
0:44:55	説明すれば、
0:44:56	わかるようになりますか。
0:44:58	ここで使ってる先が、いや、売ってる先がそもそもいいのか。
0:45:05	はい根岸でございます今、尾崎さんからいただいた話でそもそもだからあれですよ。16 ページが十時重大事故の 14 番を、
0:45:16	竜巻の 19 番に振るといふ時の考え方、なぜそこにジョイントするのかと、いうことをちゃんと書いて、限った時の考え方と、とはいえこういう事項は残っているならこういう事項もこういうものも
0:45:33	こういうことがありますよということをごにちょっと書くのかなといえば 19 番に振ることを、病院とすることも考え方がわかり、こういうとして見なきゃいけないポイントがどこかということばかりと。
0:45:45	いうことで、19 番に行ったときに、どこに入れて、どういう項目が出てくるのかと、いうことで紐付けもできるということかと思えます。はい。
0:45:55	はい。古作です。それで 19 番見ると、80 分の 19 番を見ると、屋外施設になってるので、今私がずっと言っていた屋内。
0:46:06	やることには変わりがないからっていうのが根本的に違うんですよ。
0:46:14	なので、
0:46:17	私が家庭で話したことは、根本的にちょっと飛ばし先の意識が違って、何でまとめるっていうことが違うんですね。
0:46:28	19 番ワー、屋外施設、
0:46:34	自分で強度を持ちますよと。
0:46:38	いう設計。
0:46:42	の部分なんですね。
0:46:47	ていうことでフジサキ地学アリマ線っていうのはどう考えます。

0:46:53	はい。日本原燃賞でございます今後、正直悩んでおりました結局は、屋外の施設に対して、設計荷重竜巻に対して構造強度評価すと書いていながらも結局安全機能を損なわないための、
0:47:10	手段の一つが位置的分散だということで、屋外施設だという共通事項での連携だということでここに持ってきたんですけど、
0:47:21	おっしゃっていただいて何を切るかっていうのをよく考えてどことジョイントするかは、もう一度整理が必要かもしれません。はい。
0:47:31	はい。コサクです。
0:47:34	進め方費や悩み事項として挙げられたもので、少し話をして、
0:47:43	防護の視点っていうので同じだということであればまとめ、それで整備を進めてもいいのかもしれませんがね。
0:47:51	資料3でそういうことがちゃんとまとめられるかをイメージして、それでよければという話を、
0:47:57	しました。
0:47:59	なので、もしそれで上手くいくんであれば、先ほどの36条の構成ですね、しっかりとその趣旨を書いて、だからここでこういう説明を主体にするんですけど。
0:48:11	いうことをわかるようにしてください。で、
0:48:17	そうだと。
0:48:19	今のこの場所でそうだとすると屋内屋外ハヤマ関係なくなるんですよ、SAの方で。
0:48:25	どっちにしてもまとめて説明しますになってますね。
0:48:28	その趣旨もちょっと読めなくて細分化し過ぎてるがゆえにかもしれないんですけど、あれ見えなく、
0:48:34	細分化してもその趣旨がちゃんと同じように書かれていれば、結局、八条のこの場所で全部列記されて、まとまっていくんだけど、それぞれの
0:48:46	屋内であるか屋外であるのかなり、建屋がどこなのかによったりということで、意味合いが少しずつ違うんだけど、それぞれちゃんと説明しますよと。
0:48:56	いうことであればいいんですが、
0:49:02	どうしましょうね、まずは。
0:49:05	はい。中出書いてもらってから議論しましょう。そうですね。はい。まずは、何が。
0:49:12	同じなのか、どこ。なぜこれに飛ばすのかっていうのをまずは丁寧に1回で、その上で話をさせていただいた方がいいかもしれませんね。

0:49:23	おっしゃっていただいて今屋内の設計説明分類が、19番に来て突然足されるので、このために、それもなぜかということなぜ屋内同士で持っていても結局、
0:49:37	構造強度で変えると言ってることの趣旨が、許容安定基準が、それを位置的分散と組み合わせてやるってことには多分、どっちに飛ばしても変わらない気がするので、
0:49:48	そこも含めてどっちにどう飛ばすかを整理するのかなとは思いますが。ちょっと愚直にまずはちゃんと考え方を考えてみてその上で、もう一度話をさせていただければと思いますはい。
0:50:02	はいコサクです。現状のフォーマ。
0:50:07	淘汰等DBで説明する。
0:50:11	教頭SAで説明する今日は縦に並んでくんですけどエスエーが後ろにぼんと入っていて、
0:50:20	DBのどことどういう関係にあるのっていうのがわからないんですけど、今あれですかね関係するDBの真下に置いてて、
0:50:32	いるので、白。
0:50:34	後青と同じ業務の中でも斑になっているっていうことを見ていくんですかね。
0:50:43	日本インダでございます現状はそうしてますが、まだ悩ましいところはあって当然、
0:50:54	構造設計評価と並んでいるものも今、資料はお箸の白青とか並んでますけど、結局同じこと言ってるのに、何か全部が継ぎ接ぎになってる。
0:51:06	のが、非常に何がどこで結局最終形説明したいのかっていうのが、
0:51:11	わかりづらいのもあるのでちょっとどうするかもうちょっと悩まないといけないかなと思ってます。ちょっと一番いいやり方をいろいろやってみて、考えたいと思いますはい。
0:51:22	古作です。
0:51:24	それ。
0:51:25	何で昨日の質問したかっていうと、10ページの最初のところの今話題にした、36条の14なり、
0:51:37	35とかっていうところが、
0:51:40	これって、DBの対応どこなのって思うと、
0:51:46	直上じゃなくてですね、前のページに行く等、
0:51:52	屋外のSAっていうのが入ってて、
0:51:56	ずっと上行ってようやく屋外機器のDB。
0:52:02	8条、19-3になるんですね。
0:52:08	で、19-3のぶら下がりでもないはずなのになあっていう。

0:52:15	感じになってて、結局さっきの 36 条単独でみたいになっちゃってるって いうことなんですけど。
0:52:24	これをちゃんと関連するDBにちゃんとぶら下がるんですよっていうと ころノロセキで、19-3 も構造設計と評価と、
0:52:37	二つあって、うん、そのあとSAも構造評価、構造評価といっぱい並ぶん ですけど、
0:52:46	これ、構造と評価とかでも、
0:52:48	束ねるものをちゃんと並べないと。
0:52:51	結局、その同じ関係についてDBで何を説明しますかSAとして差分何を 説明しますかと。
0:52:59	というのが、パッと見えないんじゃないかなと思うんですけど、そのあた りどうなってるんですか。
0:53:04	まず、現状、
0:53:06	OSがタゾエとまずおっしゃる通りです。19-2 なり、19-2、合わせてや るっていうものが、SAが一体何があって、どこがジョイントしてそこに預 けられるのかが、今のままだと。
0:53:20	パッチ当てみたいになってるんでわかりづらい。結局最終形がどこに落 ち着くのかが見えない、わかりづらいので、その整理が必要なのと、 設計説明分類を大分優先しているところで、設計項目が同じものが、
0:53:34	うまく並び切っていないところが、先ほどの 20 ページと 9 ページで跨って 配置設計みたいなものは、預け先がよくわからなくなるっていうところ が、どこの派生でやってるのがわかりづらい。
0:53:46	いうところになってると思いますちょっとそこも、結局、
0:53:50	資料 3 に橋渡しをするもののキーワードが何か、
0:53:54	どれで代表して説明しようとしているのか、っていうところをちゃんと整理 をして見せなきゃいけないと思っているので、
0:54:02	そういう観点で、報道変えていくのがいいのかをちょっと考えなきゃいけ ないかなと思ってますはい。
0:54:15	コサクです。それで言うと、
0:54:19	9 ページの 36 条で持ってきてるところは 36 条 50 代表で書いちゃって ますけど、
0:54:31	オオモトわあ、ここに持ってきてるっていうことなんだから、8 条の 19- 3。
0:54:37	説明すること。
0:54:39	と関連があり、
0:54:42	まずはそれが軸であって、差分としてなり、類似で、これパターンが違い ますということでノダと。

0:54:49	いう説明の趣旨がここに書かれてないと何でここに持ってきてんのってのはわかんないですよ。
0:54:55	はい。ユニシアでございますおっしゃっていただいていると思うんですねはい。
0:55:02	代表として、に上げてますけど、差分なのか何なのか、何がどう違うからここにあげてるのかが、そのリンクする場所がどこなのかも含めて書いてないと、設計としてこれを全体網羅できてるかっていう後追いで見る時も見えなくなっちゃうんで、
0:55:20	そういう点も整理をしないといけないと認識をしておりますはい。
0:55:25	はい、古作です。
0:55:29	今の場所と言えば、固縛っていうのは、波及影響防止非安重のものを固縛しますと、
0:55:38	というようなところと設計としては一緒なはずで、DBで関連する場所があるとずっとお話してたところですけど、
0:55:48	何でここにあるんですか。
0:55:52	はい、日本インダでございます今、大分に書いてますかおっしゃっていただいている通りの認識私もいますABD項目があるので、そこに財集計執着さし執着して
0:56:07	ジョイントしていくということにする。
0:56:10	逆にそのために項目作ったのについていう認識でもいいので。はい。それが必要な作業だと思っておりますはい。
0:56:18	はい、古作です。その点でもちょっとリンク先の整理がまだ練られてないかなっていう気がするので、次のバージョンで具体。
0:56:28	に紐づけの体系の意識があつていけばいいかなと。
0:56:33	氏原さん。
0:56:35	清町のフジワラについて今の話題に上っていたところ、あれですかね。
0:56:39	29 番の方。
0:56:41	2、イマダと 19 番 29 番にダブルでエントリーしてたりと。
0:56:46	いったところで、
0:56:47	ごちゃごちゃしてきてしまっていてっていうところでもそこでは、物によっては 11 ページですか、そこだと 36 条の 50
0:56:58	こういったところ
0:56:59	整理はちゃんと、
0:57:01	衛藤。
0:57:01	してくださいと。
0:57:03	結構そういったものが、何ヶ所かあったような
0:57:08	SAから

0:57:10	Dに投げてるはずなのに、代表はSEで、者は代表、SEの者でもいいのかもしれないですけど、
0:57:17	基本設計方針 8 号に投げてる部分も結構あって、何か統合してもう 1 回戻してみたいな感じになってるんですけどそのあたりの考え方も、
0:57:25	綺麗に整理をしておいてください。小出です。今の例示でいうと、先ほど言った通りにはなるんですけど、降り方が悪いということなんですよ。
0:57:37	屋外全般として強度を持ちますっていうのは八条の何番です。で、一方 DB 設備に悪影響を防止するというし、
0:57:48	ことも必要なので、それは八条のナンバー、
0:57:53	と関連しますということで 36 条側でちゃんと関連する 8 条の部分にちゃんと分岐してあげると。
0:58:00	いうことが必要で、そうすると 36 条の方針のところの一つ一つその視点を変えておかなきゃいけないんですよ。じゃないとなぜ八条のそこに古野ってわからないから、
0:58:11	ということで言うと 36 条もうっとしっかり書かないと、ちゃんと分解できませんよ。
0:58:17	ちゃんと飛ばして同じところに持ってきませんよっていうことになっちゃうので、まだまだ
0:58:22	その分解が足りない書き方が足りないということだと思います。
0:58:29	はい。与儀ニシダでございます。以前から、確かにおっしゃる通り申し上げてる通り、衛星がいくつかの DB の基本設計方針に分散して、
0:58:39	飛ばすときには、SA 側でちゃんと、何をそっちにひもづけたいのかと、いうことを、それぞれ明記して、何が要求として DB のここに飛んできているのかがわかるように、
0:58:52	しないと駄目だというのは、今おっしゃっていただいている通り、それを主ゴールとしてやんなきゃいけないと、ということで、作業は進めますはい。
0:59:04	規制庁の藤原ですよろしくお願いします。
0:59:08	結構しっかり書いてくださいねといったところに尽きてはしまうんですけども、
0:59:16	例えば 24 ページに、
0:59:22	少し、
0:59:26	26 ページの一番上には、建物構築物というものがあって、
0:59:31	ただ、この基本設計方針は、屋内に、
0:59:36	オクもの。
0:59:37	の可搬のものを置きますっていったところでタダ。
0:59:40	衛藤。

0:59:41	気持ち的には理解はしているんですけど、おそらく基本設計方針の中に建屋について語っている部分がなくて触れないと。
0:59:49	であれば、やはり工夫をしてください。
0:59:53	その建屋の部分をここで説明したいから建物構築物っていう分類を1個立てるのですっていうところがわかるようになれば、そういうことねってことがずっと理解できるのかなと思いますが、認識いかがですか。
1:00:10	日本原燃の瀬川です。
1:00:12	えっとですね今ご指摘いただいた121番他もそうなんですけれども、今の記載ではやはり伝わりづらくて、ここも修正案、考え、並行して考えたところでもございました例えばその121の一番上のところであればですね、
1:00:27	趣旨としては、
1:00:30	屋内に保管することで、健全性を確保しようとしている可搬型設備、
1:00:37	これを収納する建屋の設計は以下の設計にするんです。
1:00:41	というような理文をですね、もうちょっと丁寧に書かなきゃいけないなというので、並行して修正案を考えたところでもございました。ただですね、本日のヒアリングを踏まえてもですねそれでもまだやっぱり書き足りないという部分は、認識しましたので、もっと丁寧に、はい。
1:01:00	記載していくようにしたいと思います。以上です。
1:01:03	はい。規制庁の橋場です瀬川さんおっしゃる通り、こういった系統結構あって、分類とそのセル血球項目の考え方とかいったときに、
1:01:13	主語になっているものが、ぶれてるといふか、何の説明したいのかっていうのがわからない。
1:01:20	でも何となく、次の設計項目を見れば、設計した設計の文章を見ればこっち側のことを言いたいんだねっていうのは理解するものの、やはり書き換えてないと思いますので、
1:01:30	しっかりと作り込んでいただきたいと思います。
1:01:34	とコサクです。その点もですね、おそらく80を参考にしていけば、書き方ってのはわかるんじゃないかなと思うんですよね。
1:01:44	八条の方は、こういうものは、おそらくその下2、これは
1:01:50	権藤宣言のような方針になっていて、その下に具体的に設備は建屋はっていう具体の設計方針が書かれてるんじゃないかなと思うんですよ。
1:02:01	なので、その構成に繋がるように、文章を追加していくと。
1:02:08	いうことで最終的には基本設計方針にも追加するということになるのかなという気もしますが、
1:02:14	そういうことをしっかりと考えていただければと思います。
1:02:19	で、今の121、一番項目はもう121番については、

1:02:25	文章の中で、外部からの衝撃による損傷の防止ができる、建屋等と、
1:02:31	ということがあるので、建屋化に期待する機能というのが、損傷防止だと。
1:02:39	ということがわかるので、それに至る建屋にしますということに設計が繋がってくる。
1:02:45	ですね。で、機器の方は、建屋内に保管するという方針だと。
1:02:52	ということで2本立てに分けられる。それによって水、設計説明分類のどちら側でどういう説明が必要かっていうのも出てくるということで、八条と同じように展開できるということだと思うんですけど。
1:03:05	その関係でちょっと、その前のページ見てみるとですね、
1:03:11	94番ってというのがあって、
1:03:14	これは
1:03:17	代替設備により云々という方針なんですけど、
1:03:24	スライ、右側にスライドしてみるとですね、設計説明分類にまたこれも建物構築物が出てくるんですよ。
1:03:33	これ何ですかね。
1:03:37	日本原燃の瀬川です。
1:03:39	こちらはですね、ちょっとわかりづらいんですが北菅鬼頭。
1:03:43	コウ。
1:03:44	対象としてました。
1:03:49	建物そのものではなくて内的SAのときに、
1:03:54	一応、経路として見れる北換気塔というのが登場してたので、それを念頭に書いたものになります。
1:04:02	コサクです。北換気塔っていうのは、
1:04:08	SA設備なんでしたっけ。
1:04:12	はい。日本原燃の瀬川です一応S選べるついておりました。
1:04:18	SFP。
1:04:21	瀬川さんごめんなさい。具体的に何の機能でしたっけ。
1:04:26	ですね。
1:04:28	調べますので少々お待ちください。
1:04:37	F、あれです、多分、ファーストっていうところの方の、
1:04:41	ITモニタリングとか一般計画。
1:04:48	はい。はい。
1:04:58	ケースとしては、
1:05:02	日本原燃の瀬川です。
1:05:06	調べるのに少しお時間いただくので、もしよければ違うお話おすすめておいていただくと助かります。
1:05:15	古作です。

1:05:18	調べてわかるようにしていただければと思うんですけどそれに対応した今、説明方針になってるように見えなかったの、
1:05:28	ここで何を立ち上げなきゃいけないのかっていう出資な理由はちゃんと伝わるようにしてもらわないとなというふうには思います。
1:05:36	吉浦さんどうぞ。
1:05:37	店長の藤原です。
1:05:39	そういった意味でも、やはりナカの文章で何を対象にしてるのかっていうのがわかりづらい部分があって、
1:05:48	同様の視点でいうと、5 ページの、
1:05:52	竜巻の、
1:05:55	設計方針、
1:05:57	No.15。
1:06:00	金で今回代表の分を書き出していただいたので、
1:06:05	そういうことってちょっと理解が、
1:06:07	ホンダ。
1:06:08	ですが、
1:06:10	ページの、
1:06:11	5 番。
1:06:12	江藤SMがジョイントされたときに、
1:06:16	50 番とかなんかは、
1:06:20	建屋の話が確か書いてあって、
1:06:24	横野代表を見ると、主排気塔管理建屋だけですみたいなことが問われてると。
1:06:31	ただ設計方針の方がセキ方針というところで持ってきてる、設計項目の考え方っていったところが、
1:06:40	何も工夫がないので、本当にそれで大丈夫なのって言ったところが理解しづらい。
1:06:47	フォローだと思ってます。
1:06:50	ページ目の、
1:06:52	15%の一つ目の、
1:06:54	配置設計のところですかね。
1:06:57	で、そのところに、
1:07:00	8-15 のところ、D91、36 条の 91 番 121 番というのはそれなりにわかる。
1:07:08	文章が書かれてるんですけど、36 条の 50 番は、何でこれなんだっていうところが、代表の考え方にも繋がらないっていったところもあるので、先ほどの北関東の話とかもありますけれども、

1:07:20	ところ何がこれについて対象なのかっていったところが少しポイントとなる場合にはそういったところもわかるように整理していただきたいと思いますがいかがでしょうか。
1:07:31	はい。日本原燃石原でございますはい。おっしゃっていただいている通りだと思いますSAをジョイントした時に、対象物を明確
1:07:41	ピンポイントで攻めているところも確かにあるので、それは対象が何か、それが上でDBと同じものを行っているのかどうかというのわかるようにしないとイケないと思っておりますのでそういう整理を進めますはい。
1:07:55	さっき冒頭申し上げた、外気と取り合ってるやつも、対象が、同じものを指しているかどうか今の記載だとわからないので、
1:08:04	そういうことも、明確にしながら、わかりやすいようにしていくということかと思っております。はい。
1:08:13	古作です。今のところ、
1:08:16	すいませんちょっと追いつけなかったんですけど、
1:08:19	SAって、建物構築物なんですか。
1:08:23	ここで説明したいことって、
1:08:26	建物構築物が防護盤で守られてるなんて、
1:08:31	お金、排気塔の建屋以外に思いつかないんですけど、
1:08:41	多分、同じものが三つ流れてきているだけで、対象同じはずで、
1:08:46	かつ、
1:08:48	微量ですね。
1:08:49	建屋かって言われたら守りたいのは設備ですので、
1:08:52	右のやっぱはい。
1:08:56	ごめんなさい、主排気と管理建屋がSA登録されててそのことを言いたい。
1:09:02	はい。同じだよ。はい。同じそれぞれを対象に、もう本当に、
1:09:07	設備じゃなくて建屋が登録されてる。
1:09:11	提案、
1:09:12	SAとなって、あそこは設備を守るための外殻ではなくて、建屋そのものがSs-D。
1:09:20	機能機能に着目してじゃなくて多分あのSAを設定して保管してるっていうだけでもって、
1:09:27	SAラベルがつい、
1:09:29	出るんじゃないかなあ、Dの書き方も前から疑問があったんだけど、稟議だって防護対象って中身だよと、例えば防護対象じゃないように、

1:09:41	そこも含めてちょっと整理しますはい、はい、高久ですよろしくお願ひします。
1:09:46	宮さん。
1:09:49	清町の藤原です。
1:09:57	あと先ほどもちらっと言った代表の整理結果、
1:10:02	の記載が結構、
1:10:05	何かまちまちというか、どういう整理方針でこうやっているのかがあまりわからなかったり、あと、
1:10:11	その横の欄にあるその説明グループの考え方の整理との関係性とかがよくわからなかったんですけど、基本的には、
1:10:18	何か、どっちした考え方とかルールに基づいてこの辺で整理されてるんですか。
1:10:35	はい、日本イシダでございます今イシハラサイトウのは、具体的には何ページのNo. イワタっていうのフジムラです。例えば3ページだと、代表整理の結果、
1:10:46	下というところに書かれているのは、16条、括弧グループ3で整理って、タダポツッと書かれてるだけなんですね。
1:10:53	で、他のページに行くと、結構文章が書いてありと言ったことがあったり、ただその文章がグループ横野グループとあまり合ってなかったりしたんだよね。
1:11:05	はい。日本原燃石田でございますちょっとまずは、代表の整理の話についてはなぜそれが代表になるのかというのを、
1:11:15	右の説明、設計項目の考え方だったり、設計項目そのものだったりっていうのを見て、代表の考え方を整理しなきゃいけないので、それとリンク取れてないのは書き方が十分じゃないということだと思います。
1:11:30	それを見た上で、その中で説明するしなきゃいけない項目の
1:11:35	がどういったものがあるかってそれに対して代表を、
1:11:38	どういう代表を立てればいいのかっていうのは、説明しようと思ってるので、
1:11:44	かつ説明が非常にプア等は、説明になってないだけだと思ってるんで本来代表立てるべきニワなぜそれが代表2年か、
1:11:52	代表として幾つか項目を上げる場合には、隣で言う設計項目の考え方で書いてるような内容が、こうこうこういう項目があるので、それぞれ、
1:12:02	重複しない、いわゆるそれぞれちゃんと説明を、それぞれに対してしなきゃいけないものだから、それに対して、こういう説明代表を立てますよということ、

1:12:13	この代表整理の結果のところには書かないといけないと思ってます。ただこれも、
1:12:20	こういうのを積み重ねていって、いわゆる共通要因の本文での代表の立て方の考え方だったりガイドだったりに反映しようということでは思ってますので、
1:12:32	それが反映できるようなベースの考え方をしっかりと整理をしていく必要があるというのは認識をしています。
1:12:41	はい。
1:12:42	規制庁の藤村です。
1:12:45	よろしくお願いします。代表じゃないところとか、学校全体、例えば、
1:12:54	9 ページ 10 ページ辺り見ても少し疑問に思ったっていうのをメモしてたのでこの辺りもあるかと思うんですけど
1:13:03	説明グループの考え方のところで書かれてる、
1:13:08	自身が代表以外でも、ここに書いに合わせて、
1:13:12	説明しますってその代表書いてたりすると思うんですけどそれと確か右に書いてある代表整理の結果とかが、
1:13:20	記載として合わないというか同じと。
1:13:23	同じものを代表にしようとしてるのかわからなかったりしたところがあったかと思しますので、
1:13:29	まあ、あの考え方。
1:13:32	きちんと整理して、全体的にその整理からずれないように、
1:13:37	検討していただければと思います。
1:13:41	はい。日本原燃清水はい。おっしゃっていただいた通り左側の整理と、右側の代表の整理の結果の整理はですね、
1:13:48	やっぱり一致するようにしっかり中身の方精査していきたいと。
1:13:55	規制庁の荒井ですけど。
1:13:58	ちょっと代表のところで、
1:14:02	今やりとりがあったと思うんですけど、
1:14:05	この代表の選定というか抽出っていうのは、おそらく今やってる作業のもう一つ先のステップで出てくるものだと思っていてですねまずやらないといけない 36 条なりの整理と、
1:14:18	八条の紐づけっていうのをしっかりやっていただくっていうのがいいかなと思っていて、
1:14:23	最初、
1:14:24	のやりとりの方でコサクから、資料 2 の作り方のルールっていう観点で、
1:14:31	今 2 ページ目以降に作られてる表の一番右側っていうのは、

1:14:38	資料 2 ガッチャンコする形で入れてるんですよ。ただ今までしきいてきた説明だと代表の整理っていうのはおそらく資料 2 のところではできないので、
1:14:50	資料 3 の詳細設計展開表なりで、絞っていくっていう話だと思ってたんですけど、何か整理が変わったんですか。
1:15:02	乳井石田でございます整理は変わってません。今回便宜的にここに出しただけなのでやりたいことは前から変わってません。資料 23 を今後つくり込んでいく上で、
1:15:14	決めていかなきゃいけない項目の一つが代表だと思ってます。
1:15:19	MOXをどうなんていうと単純ではないところもあったので、今回、DBS Aの紐づけのこの作業をやる中で、合わせて、
1:15:29	こういう設計の内容を説明しなきゃいけないっていうのが全体的に基本設計方針 2 項目に紐づけて並ぶので、
1:15:37	それを見た上で代表ってこうだよっていうところを合わせて整理をしてもらっただけです。資料 2 の、あると。
1:15:45	だっけな。
1:15:46	別添だって何だっけ。
1:15:51	動き、
1:15:54	資料の一番最後で別添か何か出ていて、その中で整理をするっていうのは前からいろいろ通り変わってませんので、最終的にはそこに落とし込んでいって、資料 3 で、
1:16:04	代表として選んだものの説明をしていく、差分があれば差分として説明をしていくということは前から変わってないところではい。
1:16:14	わかりました。今回便宜的にメモ書きを入れるという程度で一番右側を入れたというところ認識しました。ただ設計説明分類のところの絞り込みっていうところの考え方があんまり説明できていないような気がしていますねそのままI段階の、
1:16:32	累計の話として、もうちょっと設計説明分類どうするのかっていうところの考え方が、説明ができ、聞ければよかったなと思っています。
1:16:42	以上です。
1:16:51	規制庁の藤原です。他規制庁側から、
1:16:54	コサクです。5 ページのですね一番下。
1:17:00	なんですけど、
1:17:02	よくわかんなくて、
1:17:05	屋外アクセスルートと言いながら、
1:17:10	説明項目のところは屋内のアクセスルートってなっているんですけど、
1:17:16	これは何ですか。

1:17:20	日本原電の瀬川です。これ一ですね。
1:17:24	上のところの表題を見ていただくと、資料 1 別添、
1:17:29	といったところから持ってきているものになりまして、その記載、ちょっと、しっかり提出のタイミングで直せばよかったんですが、屋外って書いてるのがおそらくこれ誤りで、
1:17:41	誤った情報がそのまま今転記されているという認識でございましてしっかり是正したいと思います。これを、
1:17:51	古作です。わかりました。で、アクセスルートは 2 種類あって、屋外のアクセスルート屋内のアクセスルートと、
1:18:03	ある。
1:18:04	いうことだと思うんですけど。
1:18:06	屋外のアクセスルートについてもうちゃんと整理をしてくださいねというのが一つ。
1:18:13	今回、
1:18:15	入ってます。
1:18:16	19 番、8 ページに紐付けてますがこのアクセスルートの振り分けもちゃんと整理をして本当にここに入れていいのかは合わせて考えなきゃいけないとは思ってます。はい。
1:18:31	8 ページの、
1:18:33	8 ページのNo.19 の一番下に今アクセスルートとありますこれが屋外アクセスルートの、
1:18:41	話をしています。はい。はい。ただこれも何を設計受けてるのか明確にわからないので、も含めて整理が必要だと思いますはい。
1:18:50	はい。コサクです。これも先ほどの別添 1 云々というのでは、屋外アクセスルートの
1:18:57	あるんですけど、
1:19:06	そうですね。
1:19:09	ここまであれですね最初話したように、何でここについていうところの、
1:19:15	まとめて説明したいっていうポイントが何かと。
1:19:18	いうことを整理していただければいいんですけど。
1:19:24	この屋外の方もそうですし、屋内のアクセスルートもそうなんですけど、土地、竜巻というよりはどちらかというと地震。
1:19:32	の対応が一番論点になる。
1:19:35	ことになって、それを念頭にここどこに振った方がいいかねっていうのをまとめておかないと、
1:19:43	何か事象ごとにばらついちゃうような気はするんですけど何かお考えになってることありますか。

1:20:14	コサクですけど私の意図した意味わかります。マイクを切っていました いません。はい。現状は屋外屋内の分け方は結局はアクセスルートに 対して耐震を最終的には考えなきゃいけないというのはおっしゃる通 りで、
1:20:31	そういうものを関係も含めて、構造強度で耐えるんだと言ってる、それぞ れ建物だったり屋外の構築物防護対象だったりというところの設計方針 に紐付け用ということで今はリンクを貼ってます。ただそこも
1:20:46	なんでってところがまだ弱いですし、本来本当にそこでいいのかっていう のは、もうさらに検討が必要だという認識でおりますはい。
1:20:59	等、
1:21:00	どンドン、
1:21:10	今日、
1:21:13	学校策です。評価する内容で言うと、瓦れきが発生しないようにという こと。
1:21:20	に単純に言うとなつて、竜巻であれパー裏面剥離みたいなどの評 価。
1:21:28	になるんだろうなと。
1:21:30	プラスそれとの関係での配置設計と、
1:21:33	いうことになるかと思うんですけど。
1:21:36	その観点、
1:21:43	耐震化はどこに繋がるのかなあと。
1:21:46	ていうのが、
1:21:47	いまいちぴんとこないんですけど、
1:21:50	思いつくのは波及影響のところ、
1:21:55	周辺に物が無いようにだとか、その関係性を説明するみたいなどは、
1:22:01	ありますけど、
1:22:06	竜巻なり何なりと見比べてみて表現が合うように、
1:22:11	整理をしていただければいいかなと思います。最終的には 36 条でこの アクセスルートを、
1:22:18	降るときに、竜巻はどこ、地震はどこ、何々はどこと、
1:22:23	書いていくことになると思うので、そのときに並びが、なるほどねと思うよ うになればいいかなと思います。検討をお願いします。
1:22:33	はい。二本木ニシノでございます承知いたしましたおっしゃっていただい たような悩んでいたのは、障害物を発生させないとかそれによる影 響を考えると、

1:22:44	いう視点だと波及影響オノ関係の 21 番とリンクづけるっていうのが、耐震以外も結局は、アクセス屋外の場合は、そ阻害しないよう
1:22:56	阻害するような要因が発生しないかどうかを見に行く方が、設計としてはあるのかなというところで紐付け先はどちらかっていうのは確かに悩んでたところなんですでもうちょっと健康して、どこが、
1:23:09	紐付け先として正しいのかは、整理をしますはい。
1:23:13	はい、古作です。その上で具体のその評価まで繋がっていくということまで必要なんですけど、大枠でそれ引っ張った上で、8 条なり六条なり、
1:23:27	展開をしていくっていうことなのか展開先に一気に持っていくのかというのはやり方として、販売を得る。
1:23:35	ところだろうなど。
1:23:36	思いますので、その際も
1:23:39	一期 2 結論のところまで飛ばすにしても、その流れっていうのは 36 条のところでちゃんと書き切ることだと思いますので、記載の拡充、よろしくお願いします。以上です。
1:24:00	規制庁の藤原です。
1:24:01	石原さんの撰津最初の説明のときに参考し、何か話にあったような気がするんですけど 16 ページの、
1:24:11	そのナンバー 23 番、36 条の、これの屋外機器配管の分類のところにある。
1:24:18	屋内に保管する屋外機器配管である。
1:24:22	可搬型建屋内ホース。
1:24:24	その整理ってのはどうなってるんです。
1:24:29	はい、稲毛ニシダでございますまずオクが 1 配管と言いながら、オクない配置みたいな説明をしているものって二つパターンがありまして、
1:24:39	可搬型重大事故等対処設備への設計説明分類を考えると、屋外にあるものを、あと母管コウみたいなところ入れるやつですねパターンがあるんだけど、
1:24:50	ハザードとして考えなきゃいけない設計のウエイトは、オクガワの環境条件が主だろうということで、
1:24:58	第 1 保管コウ調整所に入っているものも、外に置いてあるものも、可搬型重大事故等対処設備は屋外野瀬機器配管の設計設備分類に分けてるものってのがあります。
1:25:10	もう一つのパターンは、DBAはこれも一緒なんですけどDBもFM一緒なんですけど、屋外、屋内から屋外に跨っているダクトみたいなもの、これも、

1:25:22	オクガワの方が設計上、見なきゃいけない項目が多いので、設計説明分類上は、屋外機器配管に分類したということでそれを、
1:25:34	今回説明するときに、屋外機器、配管の中の屋内側の話をしてます、いわゆるダクトの内側だったり、
1:25:44	建物に入っている呉カーの話をしてますみたいなものの説明をしている部分があるんですけどそこがちゃんと文章でわかるように書ききれてないところは、
1:25:54	まだ整理が必要かなと。記載の拡充が必要かなと思ってました。はい。
1:26:00	清町の藤原です。二つあると言った分の一つ目の方は、
1:26:07	屋外機器配管になるんですか。
1:26:11	第1部括弧貯水所の。
1:26:15	建物の中に保管している。
1:26:19	という説明だったように思ったんですけど。はい。それもう今は設計説明文上は屋外機器配管に入れてます。
1:26:27	それがよかったのかっていうのはもう1回整理すればいいんですけど現状はそうなってるっていうのが現状です。
1:26:33	それが設計説明文の説明の最初期審査会合でまた別にはそう分けますよと、一応書かせていただいているところでございました。
1:26:48	成長のフジワラ。
1:26:49	イトウっていうのは、
1:26:51	第1女性所保管庫は屋外扱いでそこに置いてるものを屋外扱っていうふうにしたってことなんですか。
1:27:01	てのは、はい。
1:27:05	可搬型重大事故等対設備に設計説明ぶりをあんまり割りつけなかった、ダブルにしなかったっていうことですね、可搬はもう、屋外って配管が2部分類しますよという整理を、
1:27:18	して、
1:27:19	しっかりと規制庁オカ場所によってですよみたいな、交換場所をメインとして考えるじゃなかったでしたらそう。
1:27:28	なんでその屋外で分類されて、屋内に入ってますってやつが出てくる。
1:27:36	1回、屋内のダブル減るはずなんですけど、そしたら説明おかしいじゃん。
1:27:43	本当のオクノエザキ相神オオキなきゃいいんじゃない。
1:27:47	水を水なんか、
1:27:50	建物のナカ層、
1:27:52	あと外のコンテナと、
1:27:53	だからそれは、

1:27:55	コースが二つあるってこと。
1:27:57	屋外機器配管と屋内キハラか、そこは今、屋外機器配管とかラベルが振られてないんですよ。だからそれは、
1:28:05	屋外側の方が、環境条件オイカワでしょ。はい。
1:28:09	ということだねそういうことです。
1:28:13	あれ、何か間違ったこと言った、まず間違いない。補足ですけど、
1:28:20	過去全部屋外でまとめますと言ったのは別に撤回してもいいので、
1:28:26	同意や整理するのが今回の種類の整理として説明がしやすいかと。
1:28:33	ということで、改めて考えていただいたらいいかと思います。
1:28:46	はい。
1:28:48	どうぞ。
1:28:51	特にない。どうぞ。はい。
1:28:54	規制庁、内村です。それ以外に、規制庁側から何か確認ありますでしょうか。
1:29:06	特にないですかね。
1:29:08	そうしたら、私は規制庁カミデです。この後耐震もどうすんのっていう話があるにはあるんですけど、一旦このタイミングで振り返りますと、
1:29:21	そうだね。
1:29:23	できれば、
1:29:24	はい。人の入れ替えもありますんでそうさせていただけた方がいいかなと思いました。
1:29:39	はい日本へのイシダでございますはいちょっと全般論になりますが 30 条側、
1:29:46	今の設計として何を考えなきゃいけないのかあとさ、36 条内での不備振り割り振ったやりとりをしてる部分。
1:29:57	どっかに売ってる部分のなぜそこで触れるのかと、どう、何という観点で同一なのかということをちゃんとわかるようにするということ。
1:30:05	あとDB側に振るときも、どういう観点でそれを振っているのかということ何を対象にしているのかと、いうことを、わかるような文章をちゃんとしっかりと書いていくと。
1:30:17	ということだと理解をしまして全般的にそういうことだと。
1:30:22	あとは最後に出た設計説明分類ははい。過去に行ったことをどうのこうのはさておき、今回整理するにあたって、非常に書きづらいと。
1:30:32	いうことが正しく出てる様なので、そういう説明のしやすさ、わかりやすさという観点で過去やったことは置いといたとしてどういう分類額が一番いいのかと。
1:30:44	いうことは整理をしていくということだと思ってます。

1:30:48	代表の方はすみません
1:30:53	ページ、将来的にはルール化をする考え方を全体的に本文に展開をするというために、整理をしてますので、
1:31:03	資料2は実際反映しませんけどもとはいえこの資料上でも、少なくとも、左側の設計項目の考え方だったり、イセの内容とのリンケージと説明グループの考え方とのリンケージと代表の話ですを、しっかり取って、整合を図っていくと。
1:31:19	いう作業を実施していくということで、認識をしました。
1:31:27	菅鬼頭。
1:31:29	菅鬼頭は、
1:31:31	企画北か。日本原電の瀬川ですけれども、振り返りはないんですが、北菅鬼頭の件ですけれども、
1:31:39	やはりSAラベルはついていてですね、内的、SA用として、
1:31:45	監視測定設備に紐づけてきた換気等がSNLハラれています。実際F、プールの
1:31:57	北川イトウですのでプールからの放し出していったところを監視する目的になるんですが、実際SAとしてはですね
1:32:05	プールはプールからF、放射性物質が放出されるようなモードってのは想定はしていないんですが、
1:32:12	設計基準側で、Fの放出量監視をやっているという、流れを汲んで広めにSAラベルを貼ったというのが許可の時の整理だそうです。
1:32:25	天田そうですという言い方しちゃいけないです。です。はい。
1:32:28	はい、古作です。だとすると、菅鬼頭という、
1:32:34	構築物に対して言う必要があるのかどうかというところも、
1:32:39	一つまた整理が必要なところなのかなあという気はします。
1:32:45	あそこもですね結局、内的事象への対応なのDBと同じってということにはなるんですけど、
1:32:53	DBでどういう、じゃあそのラインを整理してますかっていうこととあわせて、少し考えていただければと思います。
1:33:01	あと先ほどの振り返りの関係だ等、多分言われたつもりなんだと思うんですけど、まずは資料2として、しっかりと関係性を整理を、
1:33:12	間違えないようにして、網羅的にやってくださいと。
1:33:16	ということで、DBとの関係を意識して説明をするというのは言っていた通りで、最終的にそれを踏まえて
1:33:27	何だ、
1:33:30	庄野。
1:33:35	説明グルー

1:33:37	プ呉の考え方ですかね、のところでDBとして何を説明するのか、プラスアルファのSAとして何を説明するのかと。
1:33:49	いうことを
1:33:51	DBとSA繋がりをちゃんと持って書いていただいて、そうすることによってその次の議論になる代表性と、
1:33:59	いうところ、或いは差分として何を説明するかと。
1:34:02	いうことがわかるようになるのかなと思いますので、よろしく願います。
1:34:09	はい、与儀インダでございます承知いたしました。
1:34:15	じゃあ規制庁からマツオカなければ、
1:34:19	この後どうしますか、入れ替えと言ってましたけど、
1:34:22	休憩挟んがそのままやってしまうのか、元に行くわけですか。
1:34:31	はい。ちょっと席の入れ替えをするので、
1:34:35	休憩をちょっと挟ませていただければと思います。
1:34:38	はい、じゃあ、
1:34:41	一応 40
1:34:44	ミシマ
1:34:47	は 45 分再開ということで願います。
0:00:01	規制庁カミデセンナヒアリング再開します。次同じく共通 12 なんですけど、評価の(3)の耐震評価に係るようなところの進め方ですね、先週金曜のヒアリングであまり、
0:00:15	話がなかったのを改めて整理した結果として、説明してください。願います。
0:00:23	はい、日本インダでございます今回説明グループ 1 の耐震関係で必要な個別補足説明資料については、
0:00:34	共通中に
0:00:37	1 月 12 かな、出してレビジョン 7 の段階で資料 2 参考ということでつけさせていただいている部分になります。
0:00:45	ただ現状何もつけられてないので、そのうち、少なくとも、今回の資料 4 とあわせて説明が必要だと今思っている、個別補足は、
0:00:57	耐震建物 01、
0:01:02	ダイシンきれん 18 の新たに適用した減衰定数のについてという話ちょっと番号が、
0:01:12	ちょっと十分なっちゃいますけど、
0:01:14	耐震記念中の水平 2 方向の鉛直の組み合わせの話。
0:01:22	あとは、メインのところ行かないといけないですね。
0:01:27	ええ。

0:01:29	耐震記念 07 の類型化の話、耐震綺麗ん中 3 の現行点の話。
0:01:43	あつと。
0:01:46	耐震記念、16 が配管の定ピッチスパンの話。
0:01:55	9 を、あと耐震綺麗。
0:01:57	17、これ前話しているのかって言われた、こういう周期号炉設備のこういう式でこれはちょっと整理がまだ追いついてないんで必要だと思ってますということ、あと大新規で 20 数、
0:02:12	案の配管と機器の相対変位なしといったようなものが、必要だと思ってますあたりですね、売ろう、今後、これまでの説明を踏まえて、
0:02:25	個別補足説明資料を追加しないといけないと思っているものが、
0:02:29	グローブボックスの閉じ込めの機能維持の評価方法の話と、グローブボックス全体の耐震設計のプロセスの話の整理をしたものと、
0:02:39	いうのも必要だと思ってます。その中で、以前から話題になっている耐震建物 01 棟、
0:02:48	耐震綺麗ん 07 の累計の話。
0:02:54	耐震記念 13 の変更点の話は、
0:02:57	まずはちょっとこの間進め方でも話しましたが、資料 4 の説明の中で、それぞれの代表として設備に対して、
0:03:07	評価部位の考え方であったり、類型の考え方であったりということ。あと変更点の扱いがどうなのかというところの説明をした上、させていただくと。
0:03:18	ということでちょっとすいません、今、
0:03:24	資料の
0:03:28	耐震建物 01 台新規 007。はい。
0:03:35	耐震記念 13、
0:03:38	わかりました。続けて、
0:03:41	はい。
0:03:42	この耐震建物でいう評価部位の話機能機能との関係の評価部位の話、耐震記念 07 が類型化の話ですね。
0:03:52	阿藤大真記念 13 が変更点ミニカーの変更点の話これ
0:03:57	まずは表、資料表の中で、それぞれの田井代表としたものに対する考え方をお示しをし、それらの説明の後にですね、全体をジョイントした個別補足としての提出をさせていただくと。
0:04:11	ということでまず整理ができないかなと思っている点でございます。
0:04:15	先ほど追加で必要だと言ったものをまだタイトルも含めてお出しをしてないのであれですけども、
0:04:23	グローブボックスの閉じ込めの機能維持の評価方法の話と、

0:04:28	グローブボックス全体の耐震設計の考え方のFMをどうやっていくとか、あと、その中でのパーツパーツの取り扱いをどう設計上考えているかと。
0:04:40	というようなことの整理をしたものってのは、整理をしようとしては最後に言った二つは、少なくとも、資料4を説明する時にセットで、個別補足として並べておく必要があるんじゃないかなと。
0:04:53	持っているポイント野瀬。
0:04:56	最後に言った二つ。
0:05:00	はい。二つは1コガ、グローブボックスの閉じ込めへの機能維持の方法、評価方法についてということで、
0:05:15	グローブボックスの閉じ込め機能維持のために加振試験の話とかですね、実際のあれかな。大丈夫です言ったことだけ繰り返して、はい。もう1回、
0:05:28	もう1個は、グローブボックスの耐震設計、
0:05:32	プロセスの考え方についてということです。
0:05:37	FEMがどうのこうのみたいな、もうそこが前回全体の連成で解いているのはなぜかといったことだったり、
0:05:46	グローブボックス全体のもともとの耐震設計っていうのをどう考えているかという、基本ベースの考え方だったり全体をまとめて、
0:05:55	だからこの、かつだからこういうやり方をするんですという設計プロセスまで持っていく、考え方を全体を整理したいというのが、最後に行ったものです。
0:06:07	はい、深見です。わかりました。
0:06:11	大体3のところですか。ごめんなさい、古作ですけど最後に行ったものっていうのは、どこ。
0:06:16	補足説明資料何番になるんです。ないものです。
0:06:20	また、新たに作る。
0:06:24	はい。新たに作ろうと思ってました。
0:06:27	新たに作る時に、なんでそれっていうところがあって、
0:06:32	他に類似で作らなきゃいけないものってないですかとかっていうのを考えてます。
0:06:38	はい。日本印象でございます。おっしゃっていただいている通りだと思ってます今全体としてかなりパッチ当てになってしまっているんで、他で今説明しようとしている内容から同じように発生して説明しないといけないものがあるのかと。

0:09:24	はい。規制庁、磯宗ですよ。
0:09:27	そういう意味で言うと、はい。さっき言ったそうですねと言っていたものも含めると、スズキ殿中の水平 2 方向の話と、
0:09:41	ただ新規で 23 層大変強いはいあとは新しく作ると。
0:09:49	とりあえず当てたものを作ってもいいですけど、ヒライないものがある。
0:09:54	四大四つ。
0:09:56	はい。ということですか。
0:09:59	はい。はい。失礼しました日本イシダでございますはい。そういうことになりますはい。
0:10:09	水平 2 方向の話も、何て別の資料がいるところがよくわからない。
0:10:18	ですけど、どんなこと等を資料、
0:10:21	読んでここまで書いて、この部分を、やっぱり補足に預けたいっていう、その辺の考え方を説明して欲しいんです。
0:10:40	日本原燃の伊藤です。
0:10:42	前回のヒアリングで、グローボックスについて算設備として定義して、影響軽微というふうに説明してたんですけども、
0:10:53	耐震サポートのある形状の場合に、ちょっとそういったことは言えないのじゃないかという話ありましたので、それイソダと耐震建物での 1 とか 07 を、
0:11:04	資料 4、4 の中でまずグローボックスについてしっかり書いて。はい。後で個別補足にしますっていうと変わらないよね。そうですね。だから位置付け変わんないでいいか。
0:11:14	そういう整理ですのではい。よろしい。
0:11:19	そういう情報を先渡瀬よって話。
0:11:27	はい、日本ニシダでございますそういう意味でいくと、臼井李高校と鉛直の組み合わせなしも、前回お出しした資料 4 を拡充することによって説明が、
0:11:37	グローボックスの範囲であればできると思いますのでそちら側にしっかりと資料として落としていくということかと思えます。
0:11:46	はい。規制庁、五味
0:11:48	そうなると、だんだん減っていったと。
0:11:51	いうことで相対変位の話も、こういうふうに評価していきますっていうことだと、別に資料読んでよくて、わざわざ補足に行くことって何かあるのかなと思うんですけど、今日の感じだと何かそこまで、
0:12:04	具体的にイメージできてなさそうですね凍結、
0:12:12	はい。日本原燃の井藤です。こちら共通、すいません資料 4 の方で、

0:12:21	説明するにあたって同じようにある内容なるかもしれませんが、そこが必要とを考えてました。なので諸資料 4 の方でまず説明しないと皆同じやつ。
0:12:33	だったら耳そろえろって話になるやろって。
0:12:37	何か資料 4 でちゃんと書くのが各って言って、
0:12:41	資料 4 の方で説明したいと思います。
0:12:44	規制庁カミデですけど、
0:12:49	何か資料 4 が大分リッチになってきているからそういうふうな整理で、
0:12:55	いいとは思いつつ、何かありますか。大丈夫ですか。古作です。ちょっとよくわかんないのが、
0:13:03	何だろう。水平 2 方向鉛直については、
0:13:10	その評価対象がですね、どういうものであれば考えますよっていう基本概念があって、それにはまるはまらないってところの、具体。
0:13:20	なところなだけなので、補足の
0:13:25	評価方法としての詳細とかっていうのは一般の方から変わりよくありませんと。
0:13:30	いうようなこと。
0:13:33	なのかなっていう気もして聞いていたんですけど。
0:13:37	相対変位については、グローボックスって何か特徴のあることって本当にないのかなっていうのが、
0:13:44	ちょっとよくわからなくてそれを資料 4 で説明し切れるのかなっていう気もするん。
0:13:51	ですけど、
0:13:53	何でかっていうとまだ具体、整理してくれていないIIIASの問題っていうことになるんですが、
0:13:59	その辺りって、どういう整理になってるんですかね。
0:14:11	一般的な相対変位、
0:14:14	でのその構造物の
0:14:17	隣接とかっていうのとちょっと違う気もするんですけど、具体の設計私、まだ最終的にどう最終的には現状どうなのかって聞いてないからよくわかんないんですけど、
0:14:27	どういう議論をしています。
0:14:41	うん。
0:14:45	でも
0:14:47	距離出して、ここにSGの機器、例えばオクんだよね。はい。SGの機器は、外にいるSafety聞いたりして、あなた、

0:14:57	ちゃんと耐震両例えば持たせるのか、この距離だったら倒れても影響ないからいいというのか、何か要求出すんだよね。そうですね。悪影響で距離がなった。過去できてれば、
0:15:09	いずれにし、ある距離が近接することはSs-Dですか。Ss評価っていうのをSG側に出して、
0:15:27	宮城西原でございますはい。ちょっと整理します要求として見れば確かおっしゃる通り
0:15:34	波及が考える変位を見なきゃいけないものに対して、お互いに見ていかないといけないので、それぞれに要求どういう要求を課してどういう設計をさせるかと。
0:15:46	いうところを整理しているかってところをちゃんと、整理をして変えていくと。
0:15:50	いうことかと思えますのはい。ちょっと整理をして、個別補足でやらないとわからないのか。
0:15:59	わからないんだな。全体へないグローブボックスだけ書いてあって、
0:16:03	あとコサクですけど、多分ですね資料4には、
0:16:06	スズキでこの間戻せない。
0:16:08	じゃないかと思うんですよね。
0:16:12	一般論でしか書けないってなる等、
0:16:15	何らか必要になってくるような気もしますし、一方でその今のす。
0:16:21	聞こえてきた雰囲気だと。
0:16:24	離隔距離取らせるとかっていうことでしかないようですけど、本当にそれで設計成り立つのっていうのは私には理解できないので、
0:16:33	その辺りもしっかりと説明してもらわないと思うと。
0:16:38	2月末にどこまでできるのっていうのはちょっと心配なんですけど、いずれにしても、原燃の現状っていうのをちゃんと等説明してもらわないと、とは思いますが、
0:16:49	その辺りも、現状が説明できるようにまとめていただければと思います。
0:16:55	はい、乳井西原でございます承知いたしました。
0:16:59	藤規制庁カミデさん。
0:17:01	補足すると、今、耐震ってニュースは見てるわけじゃないんですけど、多分す、23年でE. 範囲は、グローブボックスとあと取りつく配管のそれぞれの、
0:17:11	A機器と配管の取合い能相対変位の話だったはずで、今気にしたのはどちらかというと耐震基準03の下位クラス施設の波及影響の検討についてこの中にも当然SG機器とかも入ってますよっていうのは、基本方針、

0:17:28	整理で、その中でどういうふうにやっていますよと。当然、
0:17:34	設備として何かこの資料で出てくるわけではないんだけど、そういうものも含めて、やっぱ場合ですね接続する場合あとは近くにある場合とか、それぞれ、こういう対応してますっていうのは 03 で、
0:17:47	確認することになると思うので、事前にしても整理してください。
0:17:54	はい、日本インダでございます承知いたしました。
0:17:57	はい。清長官別でそうなると、市大体資料 4 でやりつつも全部さんがいますねみたいな話にはなるんですけど。
0:18:05	私があらかじめ思ってたのは資料 4 じゃなくて補足入れなあ、入りそうだなと思っていたのがまずその耐震基準とその波及影響の話で、
0:18:17	今回、グローボックスだとしても、
0:18:22	グローボックスとあと、モデル化している内装機器、これはすでに下位クラスだって言ってるんですけど、
0:18:29	それがどんなものがあるって、一通り今回選定したグローボックスで本当にその内装機器のやり方が、評価の仕方が代表できているのかと思うと、
0:18:43	耐震基準 03 で、一応一覧になってますから、これはボックス内装機器の対応関係を見て全部これで説明できるようなものばかりですよっていう説明は、
0:18:54	欲しいと思っているんです。で、
0:18:57	一応、
0:18:58	なるほど。これ見て欲しいんですけど、一応新しい版起きているので、今の資料でそういう関係がちゃんと説明できるようになってるっていうのであれば、ヒアリングの時には器具置いていけばいいんだけど、
0:19:11	今の話でいうと、いずれにしてもSGの対応とかも入れると少し手を入れた版で用意して欲しいというのがまず一つあるんですがいかがですか。
0:19:25	はい。乳井ニシウラでございますはい。以前オダして耐震基準 03、対象物と確かSG機器は、
0:19:34	入れた状態ではあったけど非常にふわっと入ってる感もあったと思うので、ふわっとしてでも入ってるんだったらそれで 1 回聞いてるんですけど。
0:19:44	あれ、徹底して話を聞くつもりはあまりない。
0:19:48	一応対象物上位クラスと関係する下位クラスとして一時金も一応リスト上は入れてお出しをまずしてます。
0:19:56	はい、規制庁カワセわかりましたじゃあえっと、

0:20:00	ただ、私がさっき言ったように、確かに資料 4 でこれ全部だねっていうのが、なかなか 4 図、持田表だけ読んでもわかんないような状態なのでその辺り、
0:20:12	説明できるようになってしてもらった上で、そちらの説明で構わないんですけど、またヒアリングで積んで一緒に話聞ければと思います。
0:20:22	資料 4 なり 3 のときに、
0:20:24	いいですかね。
0:20:27	はい。日本原燃の生田です。はい。
0:20:30	わかりました。了解しました。規制庁カミデその上で何かて入れた方がいいなっていうのがあれば出してくれればいいので、確認をお願いします。
0:20:40	はい。日本原燃として中身について、ちょっともう一度確認したいと思います。はい。
0:20:45	それで必要であればまた提出いたします。
0:20:48	はい。規制庁川満です。あともう 1 個あってちょっと悩ましいなと思ってるのは、計算機プログラムの、
0:20:56	行動の概要についてっていう耐震建物 29 があるんですけど、
0:21:01	やっぱり荷重の入れ方みたいな話を資料 4 でしちゃうと、結局す、そのコードの説明書がある程度ないといけないなと思ってるんです。で、
0:21:15	29 見に行ったらガスアンとか第一課で使ってるかもしかしたらあるのかなと思っただけで、
0:21:22	実用炉の作りたなもので、すでに実績のあるコードは、新たにそのだ説明しようとはしませんと言って、新しいもの、あとはバージョンが上がって少し仕様が変わったようなものだけちゃんと説明しますって、
0:21:37	なってるから、なぜ今出てきたりしてないんですよ。で、
0:21:41	何でそこをどうしようかなあでもいづれにしてもやっぱりいるよなあと思ってるんですけど、全然いかがですか。
0:21:53	はい。日本原燃の伊藤です。
0:21:55	グローブボックスの評価とかで使ってるのはいずれも NASTRAN できて、発電炉から変更ないというのは、その通りなんですけれども、
0:22:06	今おっしゃってるような荷重の入れ方とか、そういったところについては、いろんなオプションがあると考えてますので、うちの評価で使ってるのはどういったのかっていうのは、
0:22:19	Kakehi するのでそのあたりの追加という形でお出しすればよろしいですかね。
0:22:25	はい、規制庁カミデサノそういった形が出てくると、

0:22:30	それも見ながら、資料 4 の理解が深まると思ったんで、お願いしたいです。
0:22:36	はい。日本原燃伊藤です。はい、わかりました。
0:22:39	はい。規制庁鏡です。
0:22:42	新しいとは言っても多分社内では、しっかりそういうのは管管理されてるはずなので、こっちに出してないっていうだけだと思うんですね時間はかからないと思ってるんですけど。ええ。
0:22:54	一応私が思ってる不足はそれぐらいあればいいのかな。
0:22:59	いう感じですかグローボックスという意味においては、
0:23:03	それで、
0:23:05	粟田専務すいません、補足です。ちょっと戻って申し訳ないんですけど耐震基準 03D、
0:23:11	波及影響の話があって、抽出結果についてまとめると、で抽出結果については影響評価の結果とあわせて資料 4 で説明するって書いてあるんですけど、
0:23:25	どういう意味なんですかね。
0:23:27	影響評価の結果ってというのは、
0:23:30	下位クラスの耐震計算をして影響出てませんっていう、
0:23:37	ことまで資料 4 に書くてことですか。
0:23:48	はい。日本原燃の伊藤です。
0:23:51	ちょっと
0:23:53	この参考資料の書き方が、
0:23:56	はい。
0:23:57	SGの器が増えるつもりがあるわけじゃない。
0:24:01	そうですね。
0:24:04	タダニシナミヨカワしてるかわかんない。
0:24:07	レスペーパー。
0:24:08	もうどっか計画は関係ない。
0:24:11	そうですね。すいません
0:24:14	ちょっとこちらの記載、評価結果まで資料 4 で説明と書いてますけどちょっと、
0:24:20	これはすいません違うのかなと思いました。
0:24:24	古作です。そうだとすね、設工認でもう甲斐クラスのもの結果までは、
0:24:32	下書いてないと思うので、方針なりで整理をしていくということだと思うんですけど、一方で、

0:24:46	結果が見えてなくて、今の設計、設工認対象基金に対しての設計でいいのかと。
0:24:53	いうことの判断わあ、
0:24:58	何ですかね、実現可能な設計であればいいんですけど、その判断ができるのかっていうところが特にSG危機だとわからなくて、
0:25:07	そのあたりどう示していくのかなというのがよくわかんなかった。
0:25:12	たんですよね。
0:25:15	そのあたりもその実情をちょっと整理いただいて、
0:25:19	下位クラスがどういうものがあってといったときにはそれが、その実際の構造としてどうなってるのかって、特にSG機器はSGとしての要求機能を満足する設計になってるのかと。
0:25:33	いうことも含めて確認させてもらうということでIIIAS面談の方で話してますので、
0:25:42	どこでどういうふうに話をしていくかをまとめてまたお知らせください。
0:25:48	はい。乳井ニシダでございますちょっと整理をさせていただきますはい。おっしゃっていただいたように
0:25:56	いろいろとあれかな。
0:26:01	アンニュドルを言うじゃないですけど、10週間有価で示した時もSGTって結局は、
0:26:11	機能持ってる×にその下の課題があって、
0:26:15	さらにその前、周りに例えばサポートがあつてみたいな話だと、実際、IA EA側が設計するのが上の機能を持っている設備、課題が結構原燃側で用意してあるものだったり、
0:26:30	そういう切り分けも含めてサポート側に対してどういう要求というか、サポート側の要求だけで本当に耐震として機能維持できるのかっていう、そういったところをどう実物見ながら整理するかと。
0:26:43	いうことだと思うので実際の設備の構造だったりも含めて、整理をしていければと思います。
0:26:50	はい、小阪ですよろしく申し上げます。今言われた案いう中でどこまで説明して、今野記念 03に行くのかとかですなそこもちょっとよくわからないので、
0:27:00	ぜひお願いします。
0:27:04	はい、乳井上西でございますオオウチいたします切り分け現状考えたのはいう上では、今回の
0:27:13	あれですね、申請対象設備と関連するSG器ピーキーみたいのが、どういう配置でどういうところにいるかということでSG聞きづらいにはどんな機能、構造があるのかと。

0:27:25	いうところまでは、いう中でと、実際、下位クラスとしてエントリーして耐震の要求をかけるところが、耐震記念児童さん側でどういう要求をかけるかまでが、
0:27:37	耐震側で説明することかと思ってますけど実際そういう全体で説明しなきゃいけないことを、それぞれの個別補足でどう切り分けている、やりとりしてるかということも含めて整理をしてお示しできればと思います。はい。
0:27:51	はい、わかりましたよろしくお願いします。
0:27:54	規制庁カミデず、波及影響者で、安全機能有する施設だったら計算書がついてくるんで、
0:28:02	チェック最後は0で見れるんですけど、じゃあSGじゃどこに行くかっていうと00ってわけにもいかないよ。
0:28:09	いうことだと一段施設機電03の参考資料みたいな形でこれを各クラス施設等みたいな形でやって、SG機器ってこういう扱いだけどっていうのでちゃんと見てますよっていう付録はちゃんとつけても、
0:28:24	ぐらいの多分整理で、新たに1本起こすよりはもう、この中でなるべくサブいた方がいいと思います。
0:28:36	よろしいですか。
0:28:41	はい。握り一緒でございますはい。
0:28:44	コサクさんが前から言われているという我々も逆に言ってそういうことを決めてキックで出さないとですね、結局うちの設計が決まってないから何もできるって言われるだけなんで、そういうやりとりをちゃんとしていけるようにします。はい。
0:28:58	はい。規制庁亀井です。そうすると、
0:29:03	まずは、今映ってるこの参考の書き方なんかも、ノモトさんとかにも見てもらって、シノさんも実用量どんなやつ、どういう仕様だし、把握してるので、ちゃんと説明できるように、
0:29:17	見てもらうと思うんで、確認をしてもらいつつですね。
0:29:21	ええ。それで、補足としては03が要りますねという話と、耐震建物29のちょっとコードのところ、
0:29:32	送付してくださいと。
0:29:34	いうことを、さらにその資料2、3、4のセットを、いつ出してもらっていつヒアリングできますかっていう話なんですけど。
0:29:45	そこは今話ができますか。
0:30:12	はい。日本原燃の伊藤です。
0:30:14	ですねもともとは2月15日のに共通住民資料、
0:30:21	234の提出版、

0:30:23	あと、関連する補足ということで考えていたんですけども、
0:30:27	そうですねちょっと資料 234 の中身の説明にちょっととこずってるようなところが現状です。
0:30:37	15 日よりちょっと前倒しにできるについてはちょっと努力はしてみたいと思いますけれども、
0:30:45	ちょっと最大で来ても 1 週間とかそれぐらいなのかなあというふうなことで今考えております。
0:30:55	規制庁神です。15 日が 1 週間前倒しだったら、すごい正確だと思うんですけど。
0:31:03	追いついカッコ近くに追いついてってか、
0:31:08	駄目で全然駄目じゃないですか。
0:31:10	15 日より早く、
0:31:12	したいっていうそういう感じですか。
0:31:18	はい。日本原燃藤です。
0:31:20	ちょっと、
0:31:22	すいません難しいとあれかもしれませんが、できるだけ前倒しで進めていきたいと思います。
0:31:29	規制庁、小峯です。
0:31:32	勝手な想像で言うのもよくないとは思んですが、今日の話ぶりからすると、やっぱりその資料読んで、どこまで書いて補足にどう、どこ預けますかみたいな話も、
0:31:43	あんまり諏訪下がってなかったんで、そう思うとあんまりイメージできてないのかなっていう感じがしますその辺あんまり担当の方で、
0:31:54	抱え込むんじゃなくて前広に地権者の人とお話をして、
0:31:59	進め方を見定めてじゃこれぐらい出てきますねと、作業としてはそんな多くないと思うんです。今までの、
0:32:07	コメントからですね。
0:32:09	とは言ってもって感じなので、適切に作業計画、
0:32:14	練ってもらって、また募集の進め方で聞かせてもらえればと思いますけど、大丈夫ですかね。
0:32:22	はい。日本原燃の伊藤です。
0:32:25	そうですねちょっと資料構成なんかについてはノモトとか、ちょっと再処理の関係者も踏まえて、
0:32:33	どういったナカニシてるかと、そういったところを調整して、
0:32:37	スケジュール感についても
0:32:40	ページできるように、はい。
0:32:41	調整していきたいと思います。

0:32:44	はい、規制庁川満よろしく申し上げます。
0:32:49	ないですね。
0:32:51	変更点は、
0:32:53	資料 4 でって言うてますけどそれもイメージ大丈夫か。
0:32:58	資料 4 で今までのあれですけど、主評価手法としての変更点。
0:33:03	か。
0:33:04	それぞれこんなものがあるっていうのが、資料 4 で示されるんですか。
0:33:17	はい。日本原燃の姜です。
0:33:20	別途、
0:33:21	評価手法と言われたら、NASTRANで評価してるんですけども、
0:33:28	中身の設定の仕方を変えたりとかそういった、
0:33:32	ちょっとです、規制庁込みです
0:33:36	最初の説明で耐震基準 13 という既設工認からの変更点。
0:33:42	説明する補足説明資料が、
0:33:45	言った後にでもこれも資料 4 で説明できますからって言うてたんですけど、どんな感じのし、
0:33:52	説明なのか。
0:33:54	あ、失礼しました。
0:33:57	楨前 13 の方では構造変更した点とか、そういったところを今中心に書いておりますので、そのあたりについては、資料、
0:34:09	四つの資料 3 資料の方で展開できるかというふうに考えております。
0:34:15	はい。はい。
0:34:18	資料 3 はそういうところがあったから 3 ナラハタとは思いつつ 4 て、どんなもんなのかでいろいろ手法として、その変更点がポロポロ出てくるようだ。
0:34:29	10 何か 13 あった方がいいのかなと思ったんですけど。
0:34:34	はい。そうですね。構造の変更については先ほど言っていたように資料 3 でやっていますので、評価の中身で、モデルの変更とかして手法の変更している場合は資料 4 でお示しするようにします。
0:34:50	今思う限りはないと思うんですけどもあれば、そちらについては説明したいと思います。
0:34:56	はい、規制庁コマツわかりました。
0:35:01	あと補足です。先ほどスケジュールな話があったんですけど、伊藤さんの発言はですね、
0:35:10	計画性がよくわからなくて、

0:35:14	いつ何をしたいからそれに向けてこういう作業をステップを踏むんだということが見えない。
0:35:20	直近で言えバー2がⅡマツノ会合2、
0:35:28	評価の整理状況を示して、その中で課題があれば、課題を明確にすると。
0:35:36	いうことだと思ってたんですけどイシハラ山荘のす。
0:35:42	もう目的意識でやってない。
0:35:45	はい、日本イシハラでございます前回の進め方でそこも含めて15日に遅いという発言をしました少なくとも審査会合をかける前にあと2回ぐらいヒアリングをやって事実確認をしていただく。どこが、
0:35:58	不足点なのかのポイントも含めて押さえておかないと、
0:36:03	審査会合で説明するにしても、説明ポイントを思いっきり外しそうな感じもするなということで、
0:36:10	それを考えたときには今現状説のヒアリング1回しか入ってない状況で、審査会合に突入する羽目になるんで、そういうことも考えて、前倒しが必要だという発言を前回進め方ではさせていただきました。
0:36:24	はい。高速です。そうするとですね、
0:36:27	やれる限りやって少しぐらい前倒しをしますなんていうスケジュールじゃないんですよ。
0:36:34	宿題にするなら宿題にするでもう割り切って、
0:36:39	一方で説明し切りたいとか、その宿題を明確するためにここまではやっておきたいと。
0:36:44	いうところを明確にしないととてもじゃないけど前倒しの作業なんてできないと思うんで、
0:36:50	そこをしゅっ9、
0:36:53	認識合わせをして、この程度はやろう。そのためにここまではしっかりやろう。
0:37:01	ていうことを整理をして進め方冷やかに臨んでいただきたいと。
0:37:06	思います。なので、次出る資料についてはこの部分は宿題として
0:37:15	開校わけなのかわかりませんが、次のバージョン2体を伸ばしたいと。
0:37:20	ここまでにして対応しますということをお話しいただければと思います。
0:37:31	はい。与儀ニシダでございます承知いたしました。基本、
0:37:35	今ちょっと耐震チームと話をして整理をしますが、
0:37:39	それをもってやはり前回の米、ご指摘いただいた点では、
0:37:44	グローボックスの評価をやるにあたっての設計ってどう耐震設計ってどう考えるんですかっていうベースのオオモトの考え方のところはですね、

0:37:55	少なくともそれが足りないとかそこに対する配慮ってこういう点をちょっと説明してもらわないと駄目だとかっていうパターンはあるかもしれませんが、そこは少なくとも一定程度まとめて説明をしていってヒアリングを重ねていかないと駄目かなと思ってます。はい。
0:38:10	そういう点でどういうポイントを、あとちゃんと整理をして説明をするのかと。おっしゃっていただいたように、宿題をいただくことは多分、
0:38:22	ベースであるんだなと思いつつも、我々と説明をまずしなきゃいけないポイントはどこかというところをちゃんとまとめて、スケジュール感に落とししていくということをさせていただきます。
0:38:34	はい。コサクです。
0:38:37	身の丈に合った活動をしていただければと思います。
0:38:41	で、
0:38:43	初版等、その次の班で拡充がどう進むのかも、まず、先ほどちょっと口滑らして介護って言っちゃいましたけど、
0:38:53	二段階ヒアリングするのなら、初回のヒアリングの時にはここまで、
0:38:58	その次はヒアリングのコメントを踏まえたものプラス、追加でこの部分とかっていう、
0:39:07	いくつかステップあると思いますので、その点も意識しながら整理いただければと思います。以上です。
0:39:16	はい。ありがとうございます日本イシハラでございます承知いたしました。
0:39:23	はい。規制庁、深見です。
0:39:25	特段振り返りってということもないと。
0:39:29	と思いますが、
0:39:31	規制庁カガワ原燃側から何かありますか。
0:39:42	はい、規制庁幹事特段、
0:39:45	ないようなのでまた改めて進め方で聞ける。
0:39:50	ます。今日のところ、ヒアリングを終了したいと思います。
0:39:56	お疲れ様